

4魚建第1号

四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事

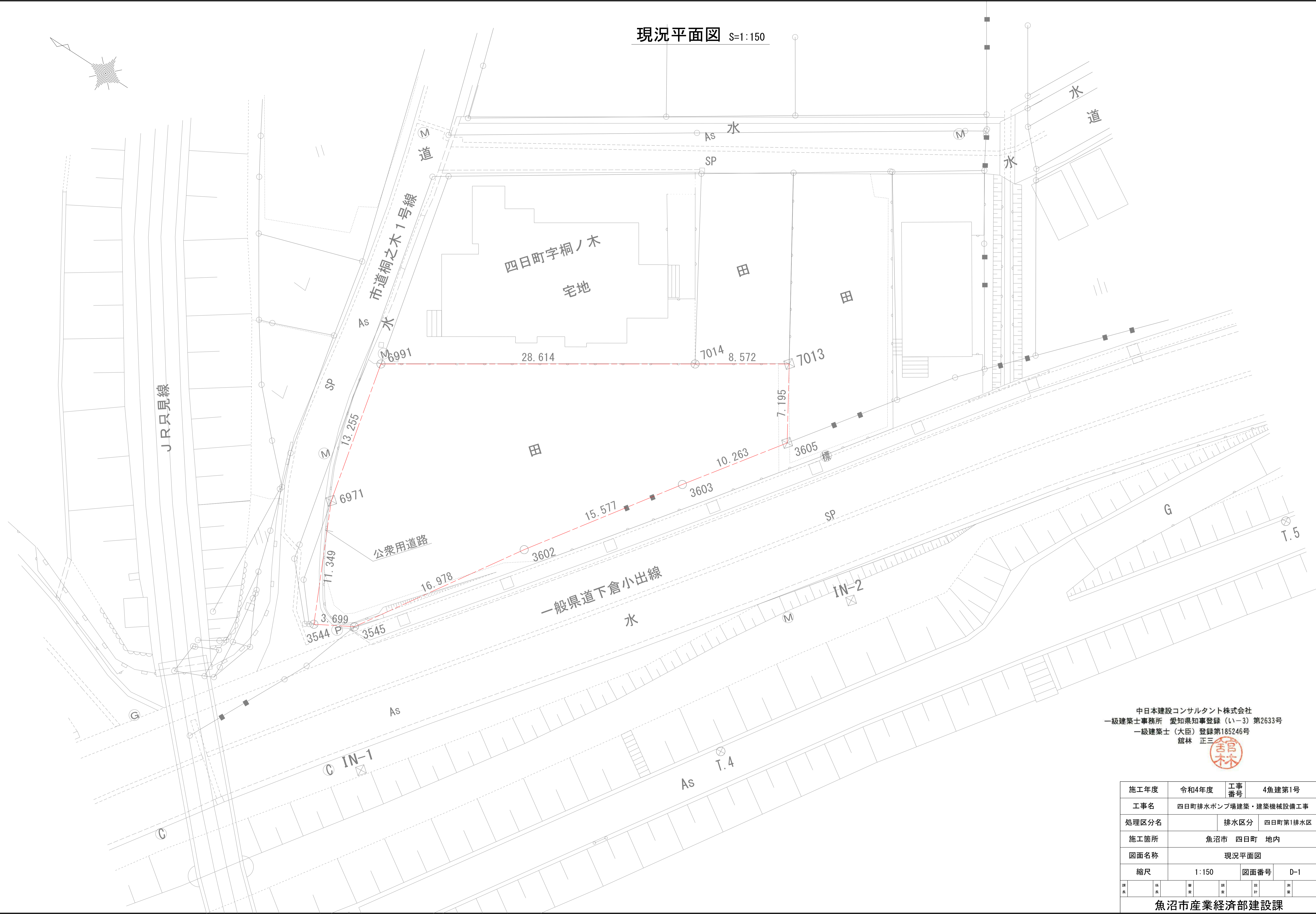
設計図面

新潟県魚沼市産業経済部建設課

4魚建第1号 四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事

目 次

[illegible]

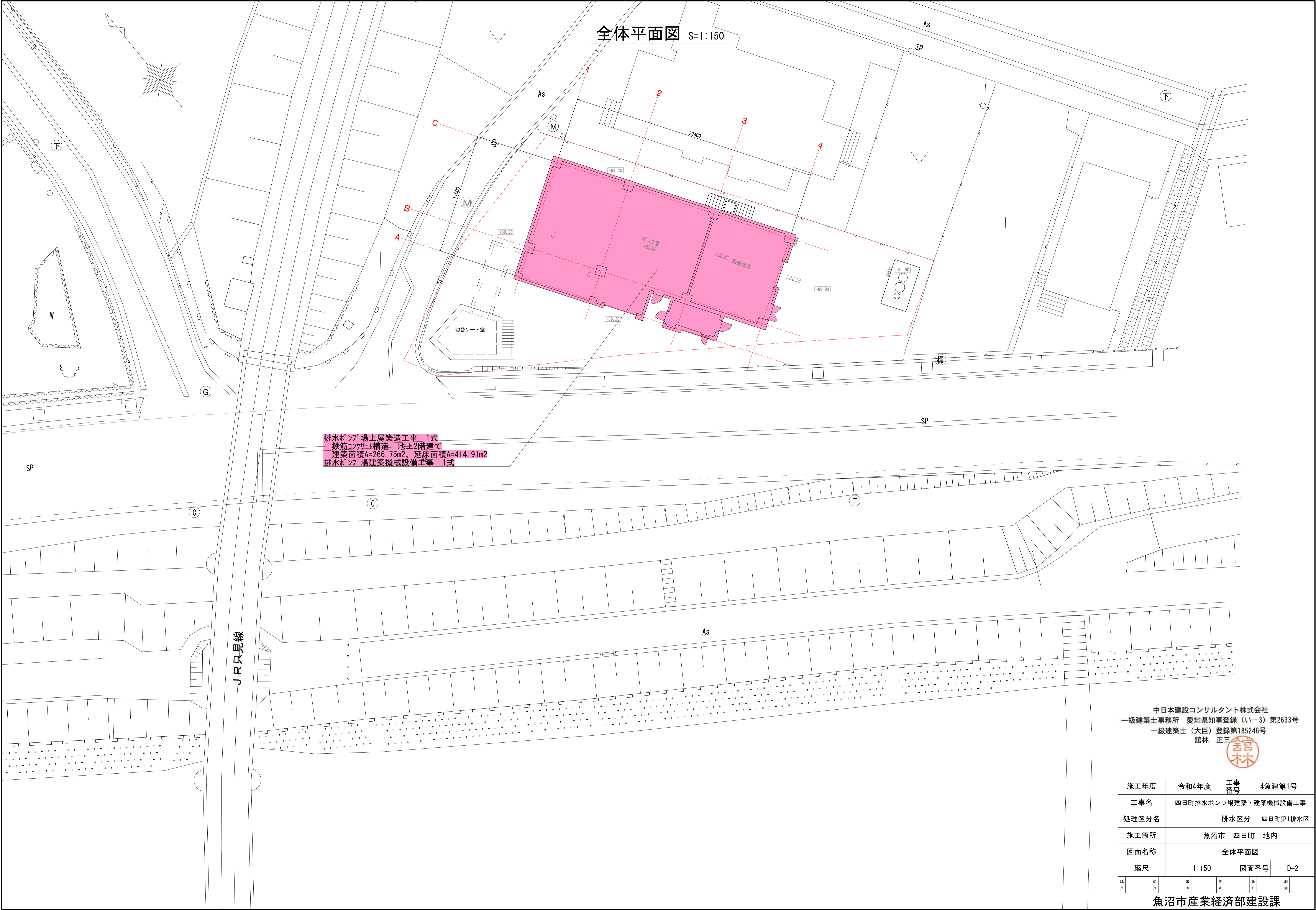


現況平面図 S=1:150

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	現況平面図		
縮尺	1:150	図面番号	D-1
課長	係長	審査	図面
		設計	測量
魚沼市産業経済部建設課			



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	全体平面図		
縮尺	1:150	図面番号	D-2
課長	係長	審査	調査
		設計	測量
魚沼市産業経済部建設課			

四日町排水ポンプ場建築・建築機械
工事設計図

新潟県魚沼市産業経済部建設課
令和 4年 (全 5枚)

仕 様 書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共
建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「魚沼市財務規則別記（建築工事請負基準約款）」（以下「約款」という。）
に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 1.1.2用語の定義の(ア)、(セ)及び(ナ)
(2) " 1.4.2材料の品質の(1)及び(2)
(3) " 1.4.4材料の検査等の(1)
(4) " 1.6.1工事検査の(2)及び(3)

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(二)
" 1.6.2 技術検査

別 表（建築工事）

号	項 目	置 き 換 え 後 の 標 仕 の 規 定
	1 章 一般共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(ア)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者を いう。 (セ)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、 及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録を いう。 (ナ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために 発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状 況、出来形、品質及び出来ばえの検査(ただし、②に係る検査を除 く。)を含む。 ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等 (約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2 材料の品質等	(1) 工事に使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（契約時の最新版）」の名簿に記載されてい る品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製 品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、 新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りで ない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態 であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除 き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。 (2) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有すること の証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJ I S又はJ A Sの材料で、J I S 又は J A Sのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじ め監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当 する材料を使用する場合は、 あらかじめ監督員の承諾を受けたとみ なすことができる。)は、この限りでない。 (7) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿 に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に 基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (9) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(1) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(4)に該当する場合又はあらかじめ監督 員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7) 工事完成検査時は工事写真で、J I S若しくはJ A Sのマー クを確認できる場合 (4) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査 時又は、工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認でき る場合
(4)	1.6.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来部分 等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び 第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考 . . .)は標仕の「各部配筋 参考図」を表す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また(. . .)内は製品名を示す。

章	項 目	特 記 事 項																																		
① 各章共通事項	① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合は登録する。(1.1.4)																																		
	② 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日)(1.2.1)																																		
	③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件(1.2.2) ・地区の区分に応じた風速(Vo(m/sec)) ○ 3 0 ・ 3 2 ・地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ ・多雪地域の指定 積雪区分 建告示第1455号 別表(30)																																		
	4 電気保安技術者	※要() (1.3.3)																																		
	⑤ 発生材の処理等	2 4追加特記 7「発生材の処理等」による。(1.3.8)																																		
	⑥ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。(1.5.2)																																		
	⑦ 技能士																																			
		<table><tr><th>通用工事種別</th><th>技 能 検 定 の 職 種</th></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>・型枠施工</td></tr><tr><td>鉄骨工事</td><td>・とび</td></tr><tr><td>ブロックALCパネル工事</td><td>・ブロック建築 ・ALCパネル施工</td></tr><tr><td>防水工事</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>・石材施工(石張り施工)</td></tr><tr><td>タイル工事</td><td>・タイル張り</td></tr><tr><td>木工事</td><td>・建築大工</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>・内装仕上げ施工(鋼製地下工事作業)</td></tr><tr><td>左官工事</td><td>・左官</td></tr><tr><td>建具工事</td><td>・サッシ施工 ・ ガラス施工</td></tr><tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・カーテンウォール施工(P C) ・サッシ施工 ・ガラス施工</td></tr><tr><td>塗装工事</td><td>・塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>内装工事</td><td>・フローリング系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>・造園</td></tr></table>	通用工事種別	技 能 検 定 の 職 種	鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	コンクリート工事	・型枠施工	鉄骨工事	・とび	ブロックALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業	石工事	・石材施工(石張り施工)	タイル工事	・タイル張り	木工事	・建築大工	屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工	金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製地下工事作業)	左官工事	・左官	建具工事	・サッシ施工 ・ ガラス施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工(P C) ・サッシ施工 ・ガラス施工	塗装工事	・塗装(建築塗装作業)	内装工事	・フローリング系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)	植栽工事	・造園
通用工事種別	技 能 検 定 の 職 種																																			
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)																																			
コンクリート工事	・型枠施工																																			
鉄骨工事	・とび																																			
ブロックALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工																																			
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業																																			
石工事	・石材施工(石張り施工)																																			
タイル工事	・タイル張り																																			
木工事	・建築大工																																			
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工																																			
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製地下工事作業)																																			
左官工事	・左官																																			
建具工事	・サッシ施工 ・ ガラス施工																																			
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工(P C) ・サッシ施工 ・ガラス施工																																			
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)																																			
内装工事	・フローリング系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)																																			
植栽工事	・造園																																			
	8 見本施工	※実施する() (1.5.5)																																		
	⑨ 化学物質の濃度測定	2 4追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。(1.5.9)																																		
	⑩ 完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 (1.7.1～1.7.3) ・仕上表 ・建物物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ・その他監督員が指示した図面																																		
⑪ 施工図等の取扱	※完成図(・A1 3部 ・A3 3部 ・CADデータ)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものと する。																																		
⑫ 工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 2部																																			
⑬ 特別完成写真	写真専門業者の撮影した外観カラー写真 2部提出する。(ネガ共) 大きさ ※キャビネ ・半紙 ○電子データ(200dpi/inch)																																			
⑭ 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認 できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事 写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック（最新版）」 を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略で きる。																																			
	※提出部数 2部																																			
	2 4追加特記 6「工事区分表」による。																																			
⑮ 設備工事との 取合い																																				
② 仮設 工事	① 監督員事務所等	・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・㎡程度を設ける。(2.3.1) ○仮設事務所の中に監督員用空間を 10㎡程度確保する。 ○監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与 する。 ○保護帽 2ケ ○雨具 2着 ○長靴 2足 ○安全帯 2組 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 外部足場は枠組足場とする。(2.2.4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、(同ガイ ドライン)の別紙「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2) 手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																																		
	③ 土工事	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (3.2.3)(表3.2.1) ○構内指示の場所(◎敷き均し ・堆積)(3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所：) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする																																		
④ 地業 工事	1 試験	・試験杭 (4.2.1～4.2.4) 位置、本数及び寸法 ※図示 ・監督員の指示による ・杭の載荷試験 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 試験位置 ※図示 載荷荷重 N/mm ² ・地盤の載荷試験 ※平板載荷試験 ・ 試験位置 ※図示 載荷荷重 N/mm ²																																		
	2 既製コンクリート杭地業	種類 (4.3.1)(4.3.3) ・遠心力高強度プレストレストコンクリートくい(ＰＨＣ杭) ・外殻鋼管付きコンクリートくい(ＳＣ杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリートくい(ＰＲＣ杭)																																		

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ コンクリート
打放し仕上げ

⑩ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

⑦ 骨材の品質

⑧ コンクリート
打放し仕上げ

⑨ 寒中コンクリート

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

⑥ コン
クリ
ート
工事

9 防水工事	① アスファルト防水	(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.9)
	種 別	施 工 箇 所
	○AⅠ－1	ROOF・B
	○AⅠ－2	ROOF・A
	・A－2	
	・D－2	
	・BⅠ－2	
	アスファルト ※3種 (9.2.2)	
	断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (9.2.2)	
	材質 屋根保護防水断熱工法 ※JIS A 9521押出法*ウレタンフォーム3種BA(層付) 材質 露出防水断熱工法 ※JIS A 9521発泡プラスチック断熱材若しくは、JIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号	
2 改質アスファルトシート防水	乾式保護材の材料 (9.2.2)	
	種 類	寸法(mm)：厚さ×幅
	○押出成形シート板	※15×
	(窯業系*補)	※無糸綿に限る
	・金属複合板	※12×
	(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)	
	種 別	厚 さ
	・	
	・	
	(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)	
3 合成高分子系 ルーフシート防水	種 別	厚 さ
	・	
	・	
	・	
	仕上塗料塗り	
	使用分類	
	・シルバー	
	・カラー	
	・軽歩行	
	(9.4.3)	
4 塗膜防水	脱気装置 種類	※製造所の仕様
	設置数量	※製造所の仕様
	・	m当たり1箇所
	PCCコンクリート部材下地 (9.4.4)	
	目地処理(接着工法) ※図示	
	入隅部の増張り(S-FI、SI-FI工法の場合) ・行わない ・行う(幅 mm程度)	
	(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)	
	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
5 シーリング	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
6 防水の保証等	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
	・X－1	庇、バルコニー平面
	・X－2	同上立ち上がり部
	種別	施 工 箇 所
10 石工事	1 天然石張り	(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)
	施工箇所	種類
	・床石	※2等 ※正方形に近い矩形
	種石の種類	※大理石
	表面仕上げ	※本磨き
	2 テラゾ張り	(10.2.1)(表10.2.2)
	種石の種類	※大理石
	表面仕上げ	※本磨き
	3 床及び階段の石張り	(10.6.2)
	床石張りの石裏面処理	・ 行う
11 タイル工事	① セラミックタイル	(11.2.2)
	タイルの種類	
	施工場所	形状寸法
	・用途	耐凍害性
	・階段段鼻	100×100
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
12 木工事	1 表面仕上げ	(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)
	表面仕上げの種類	適用箇所
	・A種	
	・B種	
	・C種	
	・H－A種	
	・H－B種	
	・H－C種	
	・	
	・	

2 木工事	2 製材	(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)
	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
3 造作用集成材	・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
4 造作用単板積層材	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
5 直交集成板	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	(12.2.1)
	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
6 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
7 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
8 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
9 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
10 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
11 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
12 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
13 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
14 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
15 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
16 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
17 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
18 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
19 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
20 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
21 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
22 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
23 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
24 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
25 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
26 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
27 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
28 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
29 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
30 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
31 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
32 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
33 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
34 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
35 直交集成板	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱	
	施工箇所	樹種

1 見本の製作等

2 防犯建物部品

③ アルミニウム製建具

・見本の製作（建具番号）（16.1.4）

・特殊な建具の仮組等（建具番号）（16.1.6）

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による）（16.1.6）

外部に面する建具の性能等級等（コクリット下地及び鉄骨下地）（16.2.2）（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	
※B種	S-5	・	・	・	図示
・C種	S-6	A-4	W-5	・	

外部に面する建具の性能等級（木下地）（16.2.2）（表16.2.2）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・D種	S-2	A-3	W-3		
・E種	S-3	A-3	W-3		

表面処理（16.2.4）（表14.2.1）

施工箇所

外部建具

※BB-1種

・BB-2種

・

・無着色

・標準色（※ブラウン系・ブラック・ステンカラー）

内部建具

・BC-1種

・BC-2種

・

・無着色

・標準色（※ブラウン系・ブラック・ステンカラー）

外部に面する樹脂製建具の性能等級（コクリット下地及び鉄骨下地）（16.3.2）（表16.3.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4		
・B種	S-5				
・C種	S-6		W-5		

外部に面する樹脂製建具の性能等級（木下地）（16.3.2）（表16.3.2）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・D種	S-2	A-4	W-3		
・E種	S-3				

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級（16.3.2）（表16.3.2）

種別	性能等級	施工箇所
・T-A種	T-1	
・T-B種	T-2	適用箇所は建具表による

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級（16.3.2）（表16.3.3）

種別	性能等級	熱貫流率（W/（㎡・K））	施工箇所
・H-A種	H-4	2.91以下	
・H-B種	H-5	2.33以下	適用箇所は
・H-C種	H-6	1.90以下	建具表による

ガラス ※複層ガラス・単板ガラス・三重ガラス（16.3.3）

表面色 標準色（※ブラウン系・ブラック・ステンカラー）（16.3.4）

水切り ※図示（16.3.5）

防虫網（16.2.3）

網の種類 ※合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス（SUS316）製

形式 ・外部可動式・固定式・図示

簡易気密型ドアの性能の適用（16.4.2）（表16.4.1）

※適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性（16.4.2）（表16.2.1）

・S-4
・S-5
・S-6

鋼板厚さ（1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合）

※下表以外は表16.4.2による（16.4.4）（表16.4.2）

区分	使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類 外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類 外部に面するスイングドアの建具	2.3
戸	中骨	2.3

（上表によるほか、建具製作所の仕様による性能など資料を提出し、監督員の承諾を受ける。）

・図示

簡易気密型ドアの性能の適用（16.5.2）

・適用する（適用箇所は建具表による）

簡易気密型ドアの性能の適用（16.4.2）（表16.4.3）

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性（16.6.2）（表16.2.1）

・S-4
・S-5
・S-6

表面仕上げ ※H仕上げ・鏡面仕上げ（16.6.4）

曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（16.6.5）

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）（16.7.2）

ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度・鳥の子（表16.7.3）

ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁・生地縁（表16.7.10）

マスターキー ※製作する（協議による）本・製作しない（16.8.4）

鍵札数量 錠前1組に2枚とする・錠前1組に1枚とする

かざ箱 市販品 形式 ③C組用・60組用・120組用（16.9.2）（16.9.3）（表16.9.1～4）

7 鋼製軽量建具

8 アルミニウム製建具

簡易気密型ドアの性能の適用（16.5.2）

・適用する（適用箇所は建具表による）

簡易気密型ドアの性能の適用（16.4.2）（表16.4.3）

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性（16.6.2）（表16.2.1）

・S-4
・S-5
・S-6

表面仕上げ ※H仕上げ・鏡面仕上げ（16.6.4）

曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（16.6.5）

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）（16.7.2）

ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度・鳥の子（表16.7.3）

ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁・生地縁（表16.7.10）

マスターキー ※製作する（協議による）本・製作しない（16.8.4）

鍵札数量 錠前1組に2枚とする・錠前1組に1枚とする

かざ箱 市販品 形式 ③C組用・60組用・120組用（16.9.2）（16.9.3）（表16.9.1～4）

9 木製建具

10 建具用金物

11 自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置の種類

引き戸用検出装置の種類

防 錆

・SSLD-1

・光線（反射）センサー

・電波センサー

・適用する

・SSLD-2

・熱線センサー

・タッチスイッチ

・適用しない

・DSDL-1

・音波センサー

・押しボタンスイッチ

・適用しない

・DSDL-2

・光電センサー

・多機能トランスイッチ

凍結防止措置 ※行わない・行う（ ）（16.9.3）

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）（16.10.1）

シャッターの種類（16.11.2）

○管理用シャッター

・外壁用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度（1,250）N/㎡（16.11.2）

開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1）

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない（16.11.2）

12 自閉式上吊り引戸装置

⑬ 重量シャッター

シャッターの種類（16.11.2）

○管理用シャッター

・外壁用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度（1,250）N/㎡（16.11.2）

開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1）

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない（16.11.2）

14 軽量シャッター

15 オーバーヘッドドア

16 ガラス

開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）（16.12.2）

外部に面するシャッターの耐風圧強度（ ）N/㎡（16.12.2）

スラット（16.12.3）（16.12.4）（表16.12.2）

材 質	めつき付着量	厚さ(mm)	形 状
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	※Z06又はF06	・0.5 ・0.6	※インナーロック形 ・オーバードラッグ形
・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	※AZ90	・0.8 ・1.0	

ガイドレール等 ※鋼板製・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）（表16.12.2）

シャッターケース 厚さ(mm) 0.4・0.8・（16.13.2）（16.13.3）

セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール

※スチールタイプ ※アルミタイプ ※スクッド形 ※溶融亜鉛めっき鋼板

・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローペル形 ・ステンレス鋼板（SUS304）

・ファイバークラスタイプ ・電動式 ・バリエーション形

耐風圧性能による区分 50・75・100・125（16.13.2）

下記以外は、建具表による（16.14.2）

・合わせガラス

特性による種類 I類 II-I類 II-II類 III類

・強化ガラス

材料板がガラスによる種類 特性による種類 色 調

・フロート強化ガラス I類

・型板ガラス III類（曲面はI類）

複層ガラス

種 類	断熱性、日射遮へい性による区分
・断熱複層ガラス	・T1・T2・T3・T4・T5・T6
・日射熱遮へい複層ガラス	・G・S

熱線吸収板ガラス

材料板がガラスによる種類 特性による種類 色 調

・熱線吸収フロートガラス 1種 ・ブルー ・グレー

・熱線吸収網入り磨き板ガラス 2種 ・ブロンズ ・グリーン

熱線反射ガラス

種 類	材料板がガラスの種類	日射遮へい性	耐久性
※熱線反射ガラス	・フロート板ガラス	・1種	・A類
・高性能熱線反射ガラス	熱線吸収板ガラス	2種	・B類
・強化ガラス	・強化ガラス	3種	
・倍強度ガラス	・倍強度ガラス		

材料板がガラスによる種類の名称 色 調

※フロート倍強度ガラス

・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ

2 ビニル床シート

3 誘導用、注意喚起用床材

4 ビニル幅木

5 帯電防止床材

6 カーペット敷き

7 合成樹脂塗り床

8 床用塗料塗り

9 防塵用塗料塗り

10 フローリング張り

11 畳敷き

⑫ せっこうボード

その他のボード張り

（19.2.2）

種 類	JISの記号	厚さ(mm)	備 考
※コンポジットビニル床シート	K T	※2.0	
・単層ビニル床シート	T T	・	
・複層ビニル床シート	F T	・	
・置敷きビニル床シート	F O A	・	
・薄型置敷きビニル床シート	F O B	・	

視覚障害者用床材（19.2.2）

適用箇所 種 類 寸 法 (mm) 形 状

屋 内 ・塩化ビニル系 ※300×300 ・ブロッカーターン

・レジンコンクリート系 ※300×300 JIS T 9251

・磁器又はせっ器タイル による

屋 外 ・コンクリート系 ※300×300×60・300×300×30 色彩は黄色を原則とする

・磁器又はせっ器タイル による

厚さ(mm) ※1.5 ・（19.2.2）

高さ(mm) ※60・75・100

（19.2.2）

種 類	厚 さ(mm)	性 能
・コンポジットビニル床シート	※2.0	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0×10 ⁹ Ω以下、又は、 漏洩抵抗値（JIS A 1454による） 1.0×10 ¹⁰ Ω未満
・ポリエステルビニル床シート	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

（19.3.2）（19.3.3）（表19.3.1）

種 別	織 り 方	バ イ ル 形状	帯 電 性	色 ・ 柄 等
・A種	ウルトラスーパー	・カットバイル	人体帯電圧 ※3kV以下	※単色（無地）
・B種	・ダブメッシュカーベット	・ループバイル	・柄物（標準品）	
・C種	・アタシスターカーベット	・カット、ループ併用	・	

（19.3.2）（19.3.3）（表19.3.2）

バ イ ル 形状	バ イ ル 長 (mm)	工 法	帯 電 性
・カットバイル	※5.0～7.0	※全面接着工法	人体帯電圧 ※3kV以下
・マルチレベル	※4.0～6.0	・グリッド工法	
・レベルアップバイル	※4.0		
・カット、ループ併用	・		

（19.3.3）

・タイルカーペット（19.4.2）（19.4.3）（表19.4.4～表19.4.8）

種 別	バ イ ル 形状	電気抵抗値(Ω)	寸 法	層 厚	施 工 箇 所
※第一種	※ループバイル	※適用しない	※500角	※6.5mm	・
・	・カットバイル	・10 ⁴ Ω以下	・	・	・

（19.4.2）（19.4.3）（表19.4.4～表19.4.8）

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑・防滑） ・薄膜型塗床工法

（19.5.2～19.5.7）（表19.5.1～表19.5.4）

品 名	樹 種 種 別	工 法	現場塗装仕上げ
・フローリングボード1等	※なら	・根太張り工法	・行う
・	・	・直張り工法	・行わない
・フローリングボード1等	※なら	・接着工法	・行う
・	・	・	・行わない
・天然木化粧板合フローリング	※なら	・A種	・行う
		・B種	・行わない
		※C種	

（19.6.2）（表19.6.1）

・A種・B種・C種・D種（・KT-I・KT-II ※KT-III・KT-K・KT-N）

（19.7.2）（表19.7.1）

種 類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛むく刨板	HW	・15・20・25
・普通木毛むく刨板	NW	・15・20・25
○けい酸カルシウム板	○.08FK	○10 タイプ2（無石棉）
・ロッキング化粧吸音板	DR	※フットパッド（※9.0・12.0・） ・凹凸タイプ（※12.0・15.0）（（個）不燃）
○せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃） ○12.5（不燃）
○不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トランシェン模様）
・シーリングせっこうボード	GB-S	・9.5（準不燃） ・12.5（準不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・		

（19.7.2）（表19.7.1）

※適用する（・アクリル系・ウレタン系・ジョイントコンパウンド）

・適用しない

○せっこうボードの目地処理（19.7.2）（表19.7.5）

目地処理の処理 せっこうボードのジョイントの種類 施 工 箇 所

○継目処理工法 ○テープ・エッジ ・ペーパーエッジ 電気室壁

・突付け工法

・目透し工法 ・ペーパーエッジ ・スチールエッジ

（表19.7.1）

種 類	記 号	厚さ(mm)
・ロッキング吸音材料	RW-B	※25 ・
※グラスウール吸音材料	GW-B	※25 ・
・		・

（表19.7.1）

13 吸音材

14 壁紙張り

⑮ 断熱材

打込み工法

⑯ 断熱材現場

発泡工法

20 ユニット及びその他工事

3 フリーアセシメント

4 可動間仕切り

（19.8.2）

施工箇所	壁 紙 の 種 類	防火性能の級別	備 考
	紙製	ビニル	化学繊維
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

素地ごしらえ（19.8.3）（表18.2.4）（表18.2.5）（表18.2.7）

モルタル、コンクリート面 ※B種

・A種（施工箇所：）

せっこうボード面 ※B種

・A種（施工箇所：）

（6.8.2）（19.9.2）

断熱材

断 熱 材 の 種 類

厚さ(mm)

・ビス法

・ポリスチレンフォーム

・保温暖

○押出法

・ポリスチレンフォーム

・保温暖

・1種b

・A・B・C

○2種b

・A・B・C

・3種a

・A・B・C・D

・3種b

・A・B・C・D

・スキン層

・あり

・なし

・1種

・1号

・2号

・3号

・2種

・1号

・A・B・C・D・E

・2号

・A・B・C・D・E・F

・3号

・A・B・C・D

・3種

・1号

・A・B・C・D

・2号

・A・B・C・D

・フェノールフォーム

断熱材

・1種

・1号

・A・B・C・D・E

・2号

・A・B・C・D・E

・3号

・A・B・C・D・E

・2種

・1号A

・2号A

・3号A

・3種

・1号A

・断熱材

兼用型枠

建設技術評価規定（昭和53年 建設省告示第976号）に

基づき建設大臣が評価した工法

（19.9.3）

断熱材の種類 ○A種1

・A種1H

断熱材の吹付け厚さ ※断熱材補修

・一般部（15mm）

（20.1.2）

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

方 向	表 面 仕 上 げ	耐火性能	防水性能
○垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	○耐火型	○有り
○水平方向		・無し	

	目 地 材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	シーリング材（見え掛かりのみ）	※20×10
外壁（幅×深さ）	シーリング材（内外とも）	※20×10

（20.2.2）

施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能注(1)	表面仕上げ材注(2)
	・バネ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床材
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット
	・バネ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床材
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット

注(1)：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーアセシメントの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注(2)：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

フローリング及びバネ・溝

※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標準20.2.2(2)(4)による）

・図示

コンクリート等の取付け対応仕様 ※製造所の標準仕様（コンクリート本体は別途設備工事）

コンクリートの箇所数 ※10～15㎡に1箇所程度

配線用取出しバネ

フリーアセシメント全体面積に対する設置割合 ※20～30%

配線取り出し開口 ※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しバネ

※無し

・有り（※固定式・可変式 施工箇所は図示）

（20.2.3）

構造形式	バネ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	バネ表面仕上げ	遮音性(JISによる記号)
※バネ式	・	※鋼板	・ポリウレタン樹脂付け	・有り
・スクッド式	※0.6・0.8	・	・ポリウレタン樹脂付け	
・スクッドバネ式	・	・	・	

不燃材料の認定 ・有

中日本建設コンサルタント株式会社

一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号

一級建築士（大臣）登録第185246号

館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名	排水区分 四日町第1排水区		
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	建築工事特記仕様書（3）		
縮尺			図面番号 D-5
図 表	図 表	図 表	図 表

魚沼市産業経済部建設課

20	移動間仕切り トリアート及びその他工事	20	ユニット及びその他工事	18 表示	室名札	20 9. カラー舗装	24 追加特記
				19 くつふきマット	市販品	舗装工事	
6	トイレブース	7	階段滑止め	20 流し台ユニット	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	区分 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
				21 屋内掲示板	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
8	階段手すり	9	黒板及びホワイトボード	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	区分 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		10	ブラインド	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
11	ブラインドボックス及びカーテンボックス	12	ロールスクリーン	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	区分 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		13	カーテン及びカーテンレール	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
14	ビークーレール	15	天井点検口	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		16	床下点検口	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
17	積雪表示板	18	排水溝及びふた	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		19	排水溝及びふた	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
20	移動間仕切り トリアート及びその他工事	21	排水溝及びふた	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		22	排水溝及びふた	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
21	移動間仕切り トリアート及びその他工事	23	排水溝及びふた	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		24	排水溝及びふた	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
22	移動間仕切り トリアート及びその他工事	25	排水溝及びふた	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		26	排水溝及びふた	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
23	移動間仕切り トリアート及びその他工事	27	排水溝及びふた	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		28	排水溝及びふた	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
24	移動間仕切り トリアート及びその他工事	29	排水溝及びふた	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		30	排水溝及びふた	21 排水管	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	
25	移動間仕切り トリアート及びその他工事	31	排水溝及びふた	22 洗面カウンター	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	24 追加特記
		32	排水溝及びふた	23 敷地境界石標	材 質 ※塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミ製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)	舗装の種類 ・加熱系 ・常温系	

24追加特記

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	
処 理 施 設 名 称	
施 設 所 在 地	
連 絡 先	
備 考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第 1 8 条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8 化学物質の濃度測定

1)測定時期

・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。
※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、 6 ）の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド （指定値0.08ppm以下）

※トルエン （指定値0.07ppm以下）

※キシレン （指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン （指定値0.88ppm以下）

※スチレン （指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン （指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・ 室 （測定箇所 箇所）

・ 室 （測定箇所 箇所）

・ 室 （測定箇所 箇所）

4)測定方法

測定機器

※パンプ型採取機器

・監督員の承諾する機器

測定要領

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、 3 0 分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を 5 時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※測定は次のイ～ハによる。

イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ 測定時間は、原則として 2 4 時間とする。ただし、工程等の都合により、 2 4 時間測定が行えない場合は、8 時間測定とする。なお、8 時間測定の場合は、午後 2 時～3 時が測定時間帯の中央となるよう 1 0 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は 1 回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5)測定結果の分析

※測定対象化学物質を採取したパンプ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度 4 ） 、 5 ） により、測定を行う。

7)報告書の提出

※測定結果の報告書を監督員に提出する。

9. 中間技術検査

・本工事は、中間技術検査を 1 回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

・低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を 1 回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

10 防水工事

伸縮調整目地 ・成形伸縮目地材 ・アンカータイプ

11 屋根及びとい工事

ルーフドレン ・ステンレス製

12 金属工事

ボイストレール 鋼材の材質：SS400（JISによる）
ボルト：普通ボルト（二重ナット）
アンカーボルトの材質：JIS G3101の2種（SS400）
仕上げ：溶融亜鉛めっき仕上げC種
荷重表示：見やすい箇所に荷重表示板を設け、許容荷重（kN及びt）を表示する。
荷重表示板：平付け型 アクリル板 厚2 300X400 シルksクリーン印刷

24追加特記

13. ユニット及び
その他工事

天井廻り縁 材種：アルミ合金製（押出し形材）

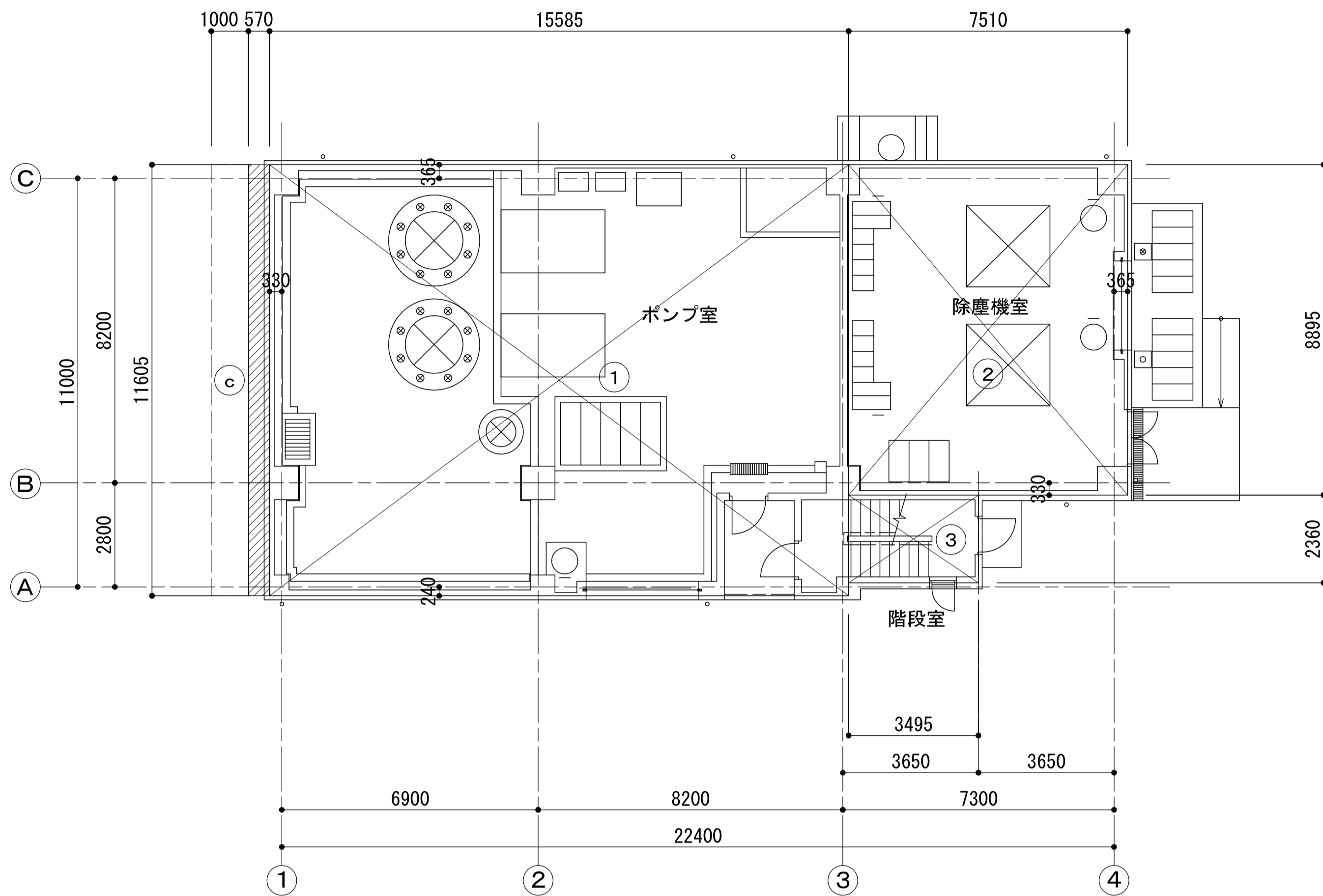
ビクトラム：平付け型 アクリル板 厚5 200X200 シルksクリーン印刷（階段室用）
※太ゴシック正対文字の割付については、監督職員の承諾による。
※取付（又は表示）位置は、監督職員と協議の上決定する。

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三

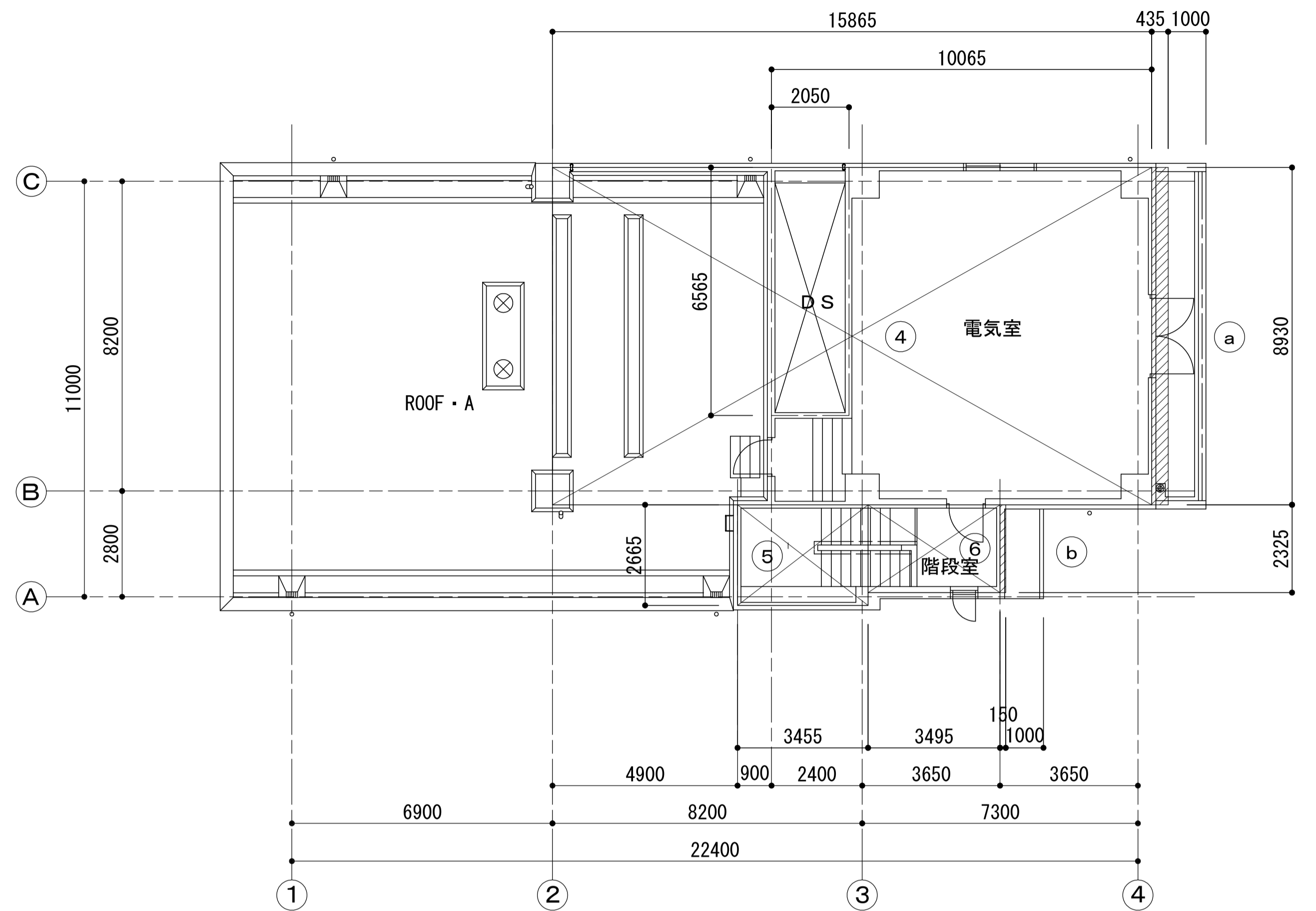
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	建築工事特記仕様書（5）		
縮尺		図面番号	D-7
課長	係長	審査	調査
課長	係長	審査	調査

魚沼市産業経済部建設課

工事区分一覧表																			(工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)										
N0	項 目		場 所		建築工事	建築機械設備工事	建築電気設備工事	土木工事	プラント機械設備工事	プラント電気設備工事	備 考		N0	項 目		場 所		建築工事	建築機械設備工事	建築電気設備工事	土木工事	プラント機械設備工事	プラント電気設備工事	備 考		記 載 項 目 例			
1	捨コン・砕石・杭		全て					○					3 4	床仕上		1 階ポンプ室						○				・ 軀 体	・ ポーチ		
2	地下躯体		1SLより下部					○					3 5	床仕上		電気室							○			・ 捨コン	・ 客 土		
3	仮設工事		上記に係わる部分					○					3 6	床仕上		上記以外		○								・ 砂利地業	・ 足洗場		
4	スリーブ・箱抜		上記に係わる部分					○					3 7	笠木		屋上		○								・ 止水板	・ スロープ		
5	地上躯体		1SLより上部		○								3 8	たて樋		GL+100まで		○								・ スリーブ	・ 床流し		
6	仮設工事		上記に係わる部分		○								3 9	たて樋		GL+100から雨水枡まで					○			別途場内整備工事	・ 箱 抜	・ 花 壇			
7	スリーブ・箱抜		上記に係わる部分		○								4 0	ルーフドレイン				○								・ 仕 上	・ 流し台		
8	機械基礎		プラント設備用（屋内設置）						○	○			4 1	ノンスリップ		階段すべり止め		○								・ 取合差筋	・ コンロ台		
9	機械基礎		プラント設備用（屋上設置）		○								4 2	グレーチング蓋		外部除塵機室出入口配水溝					○					・ マンホール蓋	・ 水切柵		
1 0	機械基礎及び鉄筋		建築機械設備用（屋内設置）			○							4 3	給排気ファン		1 階ポンプ室エンジン用						○	○			・ ハンドホール	・ 吊戸柵		
1 1	機械基礎差し筋		1SLより下部					○					4 4	空調機、空調室外機		電気室、屋上			○							・ タラップ	・ 浴 槽		
1 2	機械基礎差し筋		1SLより上部		○								4 5	空調室内機基礎		電気室			○							・ ホイストレール・スノコ			
1 3	柱・壁の差し筋		1 階床板取り合い					○					4 6	照明器具		各階、外壁灯				○						・ 受枠及蓋	・ バランス釜		
1 4	無筋コンクリート		1 階ポンプ室					○	○				4 7	消火器類		各階									別途備品	・ ドレーン	・ 防水パン		
1 5	無筋コンクリート		2 階電気室							○			4 8	雨水枡							○				別途場内整備工事	・ 樋	・ 安全水槽		
1 6	無筋コンクリート		上記以外		○								4 9	地下オイルタンク								○			別途工事	・ 換気扇取付枠	・ フード		
1 7	配線、配管ピット		1 階ポンプ室						○	○			5 0													・ 床排水目皿	・ 配管トラフ		
1 8	マンホール蓋 ハンドホール		蓋、足掛金物					○					5 1													・ 連通管	・ 配管ピット		
1 9	足掛金物		地下水路、ポンプ井					○					5 2													・ トップライト			
2 0	落込み取手		1 階除塵機室、1 階ポンプ室					○					5 3													・ ルーフファン			
2 1	ホイストレール		1 階除塵機室		○								5 4													・ 防液堤			
2 2	チェーンブロック		1 階除塵機室						○				5 5													・ 床無筋コンクリート			
2 3	角落し及び受枠		水路		○			○			角落しとの材料支給のみ 建築工事		5 6													・ 床仕上			
2 4	吊りフック		1 階除塵機室、ポンプ室		○								5 7													・ 機械基礎及差筋			
2 5	グレーチング蓋		除塵機室出入口						○				5 8													・ 階段室及段ウラ			
2 6	点検蓋		1 階ポンプ室、除塵機室					○					5 9													・ 側 溝			
2 7	マンホール蓋		1 階ポンプ室、除塵機室					○					6 0													・ グレーチング			
2 8	防油堤		1 階ポンプ室					○					6 1													・ 手 摺			
2 9	アルミ手摺		1 階ポンプ室、屋外ポーチ					○					6 2													・ 雨水枡			
3 0	アルミ手摺		上記以外及びバルコニー		○								6 3													・ 笠 木			
3 1	階段壁付き手すり		階段室		○								6 4													・ ノンスリップ			
3 2	外装及び屋根仕上		外部		○								6 5													・ 地下貯油槽外殻			
3 3	建具				○								6 6																
																			中日本建設コンサルタント株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号 一級建築士（大臣）登録第185246号 館林 正三										
																			魚沼市産業経済部建設課										
																			縮尺										
																			図面番号										
																			D-9										
																			図 長										
																			図 高										
																			図 深										
																			図 計										
																			図 量										
																			魚沼市産業経済部建設課										



1 階面積算定図 1:100



2 階面積算定図 1:100

床面積表（建築基準法）（㎡）			
階	符 号	計 算	計
1 階	①	15.585 X 11.605 = 180.863	255.91
	②	7.510 X 8.895 = 66.801	
	③	3.495 X 2.360 = 8.248	
2 階	④	15.865 X 8.930 = 141.674	159.00
	⑤	3.455 X 2.665 = 9.207	
	⑥	3.495 X 2.325 = 8.125	
合 計			414.91 ㎡

建築面積表（建築基準法）（㎡）			
階	符 号	計 算	計
	①	15.585 X 11.605 = 180.863	266.75
	②	7.510 X 8.895 = 66.801	
	③	3.495 X 2.360 = 8.248	
	a	0.435 X 8.930 = 3.884	
	b	0.150 X 2.325 = 0.348	
	c	0.570 X 11.605 = 6.614	
建築面積（建築基準法）			266.75 ㎡

電気室床面積表（㎡）			
階	符 号	計 算	計
2 階		10.065 X 8.930 = 89.880	76.42
		-2.050 X 6.565 = -13.458	
合 計			76.42 ㎡

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	面積算定図 面積表		
縮尺	1:100	図面番号	D-10
課長	係長	審査	図面設計測量
魚沼市産業経済部建設課			



建 築 概 要				地域・地区等		その他確認事項															
建 物 名		ポンプ棟		法令・条項		項 目		該当事項		項 目		摘 要									
敷 地 面 積		710.76 m2		都 計 法		都市計画区域		都市計画区域内		防 火 対 象 物		○ 防火対象物 第 1 5 項 ○ 協議済									
構造・規模		鉄筋コンクリート造 地上2階建て		建基法43条		敷地等と道路との関係		一般県道下倉小出線 幅員 9m		管廊・別棟との接続		・ 消防署と別棟扱い（消防安第2 6 号） の協議済									
建 築 面 積		266.75 m ²		建基法48条		用途地域		第 1 種住居地域		ボンベハウス等の構造											
延べ床面積		414.91 m ²		建基法52・53条		容積・建ぺい率（全施設）		200% 60%		条例等による制限の 附加の有無		消火器の付加設置有り									
軒 高 さ		11.30 m		建基法56・56の2条		建築物の高さ □ 斜線 日影		道路斜線：勾配1.5、隣地斜線：立上り20m、勾配1.25 日影：対象建物高さ10m超、平均地盤からの高さ4m、日影時間4H-2.5h													
最高の高さ		11.80 m		建基法61・62条		防火地域等		対象外													
				その他の法令・条例		下水道法、都市計画法、建設イ ^イ ル法 宅地造成等規制法、自然公園法 都市公園法、都市緑地法、景観法 バ ^リ アフリー法、省エネ法、騒音規制法 振動規制法、農地法、各種保全地域 関係条例、その他															
建 築 基 準 法（令）										建 築 基 準 法（令）											
審査項目			法令条項 法令		チェック				判定		審査項目			法令条項 法令		チェック				判定	
消火・簡雨構造等	地域・規模による 構造制限	6 1 6 2		防火地域一階数（ ） 延べ面積（ m ² ） 構 造（ ） [階数3以上又は延べ面積100m ² を超えるもの 耐火、左記以外準耐火又は耐火] 準防火地域一階数（ ） 延べ面積（ m ² ） 構 造（ ） [階数4以上又は延べ面積 1,500m ² を越えるもの 耐火] [階数3又は延べ面積 500m ² を越え、1,500m ² 以下 準耐火又は耐火] 構 造（ R C造 ） 屋根材（ 不燃材 ） ・ 法第22条の区域 [H 1 2 建告第1 3 6 1号][H 1 2 建告第1 4 3 4号] ・ 法第63条の区域 [H 1 2 建告第1 3 6 5号][H 1 2 建告第1 4 3 4号] ○ 区域外						○ K		防火区画・防火戸	面積区画	3 6	1 1 2	別表の計算書による ○ すべて 1,500m ² 以内				○ K	
	屋根葺材	2 2 6 3	1 0 9の5 1 3 5の2 の2							堅穴区画	3 6		1 1 2-1 ・ 9	堅穴を形成する部分（吹抜き・階段・昇降機の昇降路・ダクトスペース）と区画				○ K			
居室の採光・換気等	居室の採光及び換気	2 8		[別表の計算書による]						(居室無し)		排煙	防火区画に接する部分の構造等	3 6	1 1 2-1 0 1 1、1 4	90cm 以下の壁面等の構造（ R C造 ） [準耐火構造・H 1 2 建告第1 3 5 8号] 防火戸面積（ m ² ≤ 3m ² ） ○常時閉鎖式 ・ 随時閉鎖式 [防火設備の構造：S 4 8 建告第2 5 6 3号] [遮煙性能を有する防火設備の構造：S 4 8 建告第2 5 6 4号] [特定防火設備の構造：H 1 2 建告第1 3 6 9号]				○ K	
	換気設備の技術的基準	2 8	2 0の2 2 0の3 129の2の6	居室の換気のための窓その他開口部 ・ 換気上有効な面積（ m ² ）/居室の床面積（ m ² ） ≥ 1/20 ・ 換気方法（ ） 火を使用する居室の有無 換気方法（ ） ・ 有 一 室名（ ） ・ 無						(居室無し)			防火区画を貫通するダンバーの構造等	3 6	1 1 2-1 6	AM No.（ 図）による [防火設備の構造：S 4 8 建告第2 5 6 5号] [風道に防火設備を設ける方法：H 1 2 建告第1 3 7 6号]				○ K	
	換気設備（自然給気）	2 8	2 0の2 1 2 9の2 の6	給気口高さ（ m ）/天井高さ（ ） ≤ 1/2 排気口位置天井面から（ c m） ≤ 80 c m						(居室無し)			防火戸その他の防火設備	2	1 0 9	延焼の恐れのある部分 ・ 有 ○ 無				○ K	
	窓その他開口部を有しない居室	3 5	1 1 6の2	無窓（採光）居室 ・ 有（室名： ） ・ 無						(居室無し)			防火区画を貫通する配管の隙間等の処理	3 6	1 1 2-1 5 1 2 9の2 の5-1-七	防火区画を貫通する配管のすき間等の処理 防火区画を貫通する配管の構造（ ） ・ 貫通部から1m以下の部分の構造（ ） ・ 大臣認定（名称： 、認定番号： ） [貫通する給水管、配電管その他の管の外径：H 1 2 建告第1 4 2 2号]				/	
	無窓居室の主要構造部	3 5 の3		構 造（ ） [耐火構造又は不燃材料]						(居室無し)			排煙設備の設置	3 5	1 2 6の2	居室の床面積 100 m ² （全ての居室） ○ 越えない ・ 越える 越える場合の措置法（ ・ 防煙壁を設置 ） 居室の排煙面積 1/50 ・ 以上 ・ 未満も有り 未満の場合の措置法（ ） [H 1 2 建告第1 4 3 6号]				(居室無し)	
階段・踊下	2以上の直通階段（5階以下の階の場合）	3 5	1 1 7 1 2 1	居室の床面積 避難直上階（ 0 m ² ） > 400 m ² ・ 2ヶ所 （ m ² ） ≤ 400 m ² ・ 1ヶ所 その他の階（ 0 m ² ） > 200 m ² ・ 2ヶ所 （ m ² ） ≤ 200 m ² ・ 1ヶ所						(居室無し)		非常照明	排煙設備の構造	3 5	1 2 6の3	各部分からの排煙口までの水平距離（ m） ≤ 30 m ・ 手動解放装置の床面からの高さ 壁付 1.5 m ≥（ m） ≥ 0.8 m ・ 天井吊上げ（ m） = FL+1.8 m 排煙口 [別表計算書による] ・ 全て自然排煙 ・ 1部機械排煙				(居室無し)	
	避難階段の設置及特別避難階段	3 5	1 2 2 1 2 3	地上（2）階、地下（0）階 ・ 避難階段 [5階以上、地下2階以下] ・ 特別避難階段 [15階以上、地下3階以下] ○ 該当せず						○ K			非常照明の設置	3 5	1 2 6の4	・ 設置 ・ [階数3以上で延べ面積500m ² を超える建築物の居室] ・ [延べ面積 1,000m ² を超える建築物の居室] ・ [無窓居室（採光に有効な窓等の合計が当該居室の1／20未満）] ・ [廊下・階段・その他通路] ○ 不要				○ K	
	直通階段・歩行距離	3 5	1 1 7 1 2 0 1 2 1	[主要構造部が準耐火構造又は、不燃材料で作られている場合] 無窓居室：歩行距離（ m） ≤ 30m・（40m：廊下・階段・その他通路を を準不燃材料以上で内装） その他の居室：歩行距離（ m） ≤ 50m・（60m：廊下・階段・その他通 路を準不燃材料以上で内装） [2以上の直通階段を設ける場合] 重複距離（ m） ≤ 当該歩行距離の2分の1						(居室無し)		非常用進入入口	非常用照明の構造	3 5	1 2 6の5	設置を要する部分（ ） [S 4 5 建告第1 8 3 0号] ・ 1Lx（蛍光灯2Lx） ≤（電灯の種類： Lx） ・ 予備電源（30分間継続点灯）				/	
	階段・踊場の幅・けあげ・踏面寸法	3 6	2 3	直上階居室計（ 0 m ² ） > 200m ² 地階もしくは地下工作物の居室の合計 （ m ² ） > 100m ² ・ 階段幅 1.2m ≤（ m）、踊場の幅 1.2m ≤（ m） けあげ 20 cm ≥（ cm）、踏面 24 cm ≤（ cm） 上記外 ○階段幅 0.75m ≤（ 0.96 m）、踊場の幅 0.75m ≤（ 2.07 m） けあげ 22 cm ≥（ 17.4 cm）、踏面 21 cm ≤（ 26 cm）						○ K			非常用進入入口								

施工年度		令和4年度		工事番号		4魚建第1号	
工事名		四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事					
処理区分名				排水区分		四日町第1排水区	
施工箇所		魚沼市 四日町 地内					
図面名称		法規チェックリスト					
縮尺				図面番号		D-11	
図表		図表		図表		図表	
魚沼市産業経済部建設課							

(ポンプ)棟 仕 上 表											
共 通 事 項		略 号		外部付属物及び詳細番号				内部付属物及び詳細番号			
1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。 2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1－0 2－3 は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)を示し、(例) A－0 2－3 は下水道施設標準図(詳細)(日本下水道事業団編著)を示す。 3. 特記以外の木、鉄部の塗装は S O P とする。但し、和室回りは除く。 4. 付属物のうち、室名札、床点検口、揭示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。 5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井図による。 6. P F 板、木毛板等打込み箇所は、別図による。 7. 内壁の見え掛りとなる P F 板打込み部分は、G B 厚 1 2. 5 直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。 8. 壁のボード張りは水平方向に原則として継手は設けない。 9. 天井仕上ボード張りのうち、G B－N C (N T) 及び D R (下地 G B 共) は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。 10. 直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚 0. 1 5 の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。 11. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。 12. 打放し仕上げの梁型は、側面を B 種、底面を C 種とする。		C C B W S G B－R G B－N C (N) G B－N C (N T) G B－D (W) G B－S G B－F ケイカル板 D R D R (凹凸) D R (軒天) D R (軒天凹凸) P F 板 木毛板 T B 外装薄塗材 (E) 内装薄塗材 (S i) 内装薄塗材 (E) 複層塗材 (S i) C (B) C (C) M 軽量吹付 合成塗床	コンクリート下地 コンクリートブロック下地 木造下地 軽量鉄骨下地 せっこうボード 不燃積層せっこうボード(化粧無し：下地張り用) 不燃積層せっこうボード(化粧有り：トラバーチン模様) 木目化粧せっこうボード シーリングせっこうボード 強化せっこうボード けい酸カルシウム板(タイプ 2) ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様 ロックウール化粧吸音板 凹凸模様 ロックウール化粧吸音板 軒天井用：トラバーチン模様 ロックウール化粧吸音板 軒天井用：凹凸模様 押出法ポリスチレンフォーム保温材 木質系セメント板 テラゾーブロック 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 内装けい酸質系薄付け仕上塗材 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 けい酸質系複層仕上塗材 コンクリート下地(打放シ B) コンクリート下地(打放シ C) モルタル 軽量骨材仕上塗材 合成樹脂塗床	複層塗材 (C E) ポリマーセメント系複層仕上塗材 複層塗材 (E) 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材 (R E) 反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 C L クリヤラッカー塗り F E フタル酸樹脂エナメル塗り A E アクリル樹脂エナメル塗り D P (U E) 2 系形ポリウレタンエナメル塗り D P (A S E) アクリルシリコン樹脂エナメル塗り D P (F U E) 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り E P－G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り E P 合成樹脂エマルジョンペイント塗り E P－M 多彩模様塗料塗り E P－T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り U C ウレタン樹脂ワニス塗り O S オイルステイン塗り S O P 合成樹脂調合ペイント塗り G P グラファイトペイント塗り A C アクリル樹脂ワニス塗り(7ｸﾘｯﾌﾟ樹脂ｸﾘｯﾌﾟ塗り) N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り L E ラッカーエナメル塗り W P 木材保護塗料塗り 防水形複層塗材 E 防水形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	・ 屋上点検口 ○ 屋上管類貫通部 ・ クーリングタワー基礎 テレビアンテナ基礎 ・ 屋上換気塔 ・ 煙 突 ○ タラップ ・ と い ○ ルーフドレン ・ トップライト ・ E X P. J 金物 ・ 笠木兼用避雷導体 ○ 手すり ・ 旗 竿 ・ くつつきマット ・ 5-21-1 ・ 5-22-1 ・ 5-22-2 ・ 5-22-3 ・ 5-21-2 ・ 図 示 ・ 図 示 ・ 8-31-1 ○ 8-31-2 ・ 8-31-3 ○ 5-31, 32, 33 ・ 5-32-1 ○ 図 示 ・ 5-33-1 ・ 図 示 ・ 既製品 ・ 図 示 ○ アルミ (図示) ・ ステンレス (図示) ・ スチール (図示) ・ 8-21-1 (ｽﾃﾝﾚｽ製) ・ 8-21-2 ・ 8-21-3	・ くつつ洗い流し ・ グレーチング ○ 電気用ﾊﾝﾄﾞﾙ蓋 ・ 文字板 ・ 庁名板 ・ 郵便受 ○ 目地 ・ 8-22-1 ・ 図 示 ○ 図 示 ・ 図 示 ・ 図 示 ○ 2-02-8～12	・ 流し台 ・ フード ・ コンロ台 ・ 流し上部水切り ・ つり戸だな ・ 水切りだな ・ 脱衣箱 ・ 天井点検口 ・ 床点検口 ・ 一般便房 ・ 車いす使用者 ・ 簡易型便房 ・ ﾏｲﾄｲﾄ用便房 ・ 車いす使用者便房 ・ 多機能便所 ・ 便所手すり ・ トラフ ・ くつつきマット ○ タラップ ○ 吊りフック ○ グレーチング受枠 ・ 浴室まわり ・ 足掛金物 ・ 6-11-1 ・ 図 示 ・ 6-11-2 ・ 図 示 ・ 6-11-4 ・ 図 示 ・ 6-11-5 ・ 図 示 ・ 6-32-1 ・ 3-42-2 ・ 既製品 ・ 既製品 ・ 6-22 ・ 6-23-1・2・3 ・ 6-24-1・2・3・4 ・ 6-25-1 ・ 6-26-1・2・3・4 ・ 6-28-1・2・3・4・5 ・ 1-21-1 ・ 8-21-1 ○ 8-31-1 ・ 8-32-2 ・ 8-32-3 ○ U 型 ○ 図 示 ・ 6-31-1・2 ・ 図 示	・ カーテンボックス ・ 鋼 製 ・ 3-31-1・2 ・ 3-32-5・6・7 ・ 3-31-3に準ずる ○ ブラインドボックス ・ アルミ製 ・ 既製品 ・ 室内揭示板 ・ アルミ ・ 図 示 ・ 手すり ・ アルミ ・ 図 示 ○ 階段手すり ○ 図 示 ・ 7-12 ・ 2-02-13 ・ 7-01-1 ○ 7-01-2 ○ ホイストレール ○ 図 示 ・ クレンガーター ・ 図 示 ・ 搬入口 ・ 図 示 ・ マンホール蓋 ・ 鋳鉄製既製品 ○ 室名札 ○ 8-43-1 (250 x 50) ○ ピクトグラム ○ 8-44-1 (200 x 200) ・ 庁舎案内板、各階案内板 ・ 図 示 ・ 図 示 ・ E X P－J 金物 ・ 既製品 ・ 誘導標識 (平付け型 アクリル板 厚 5 360 x 120 シルクスクリーン印刷)			

外 部 仕 上 表											
床	腰	外 壁	屋 根		パラペット	バルコニー		ひさし			備 考
			下地・防水層	押え・仕上		床	手 す り	上 端	は な	軒 天	
・ 磁器質タイル (100角) ○ コンクリート直均し仕上 (出入口ポーチ) ○ モルタル塗り (玄関ポーチ)	・ 磁器質タイル (50二丁) ・ コンクリート打放しの上防水形複層塗材 E ○ <C> ○ のまま	・ 磁器質タイル (50二丁) ○ コンクリート打放し (B) の上複層塗材 R E	下 地 ○ コンクリート直均し仕上 防水層 ○ アスファルト防水 (A1-2) - ROOF・A (A1-1) - ROOF・B 絶縁材 ・ ポリエチレンフィルム厚0.15 ○ フラットナックス (A1-2, A1-1) 70g/㎡	押え ○ 無筋コンクリート厚80 ○ 補強用溶接金網 6φ-100@ 仕上 ○ 押えコンクリート直均し仕上	笠 木 ・ 5-01-1 ○ 5-01-7 ・ 避雷導体兼用 ○ 図 示 立上り防水押え ○ 5-01-6 ・ 5-02- ・ 5-03- ・ 5-04- ・ 5-05- ・ 5-11-	仕 上 ・ 磁器質タイル ○ 防水モルタル塗り ○ 塗膜防水 (軽歩行用) ・ 無筋コンクリート ○ コンクリート直均し仕上げ ・ モルタル塗り ○ アルミ手すり	・ 磁器質タイル (50二丁) ○ コンクリート打放し (B) の上複層塗材 R E ・ 軒天用ロックウール (外部用) 化粧吸音板 ○ アルミ手すり	防水層 ・ アスファルト防水 () ・ 合成高分子ルーフィングシート防水 ○ 塗膜防水 押 え ・ 無筋コンクリート厚 仕 上 ・ 防水モルタル塗り ○ コンクリート直均し仕上	・ 磁器質タイル ○ コンクリート打放し (B) の上塗膜防水 ・ コンクリート打放し (B) の上複層塗材 R E ・ 金属板 () ・ アルミ製既製品	・ 金属成型板 ・ ケイカル板 A E ○ コンクリート打放し (C) の上 D P (F U E)	アルミニウムの仕上げ (無着色陽極酸化塗装複合皮膜 JISH8602 B-1種) 外部建具 (鋼製の上 D P 塗り) 内部建具 (鋼製の上 S O P 塗り) たてどい 125A 包み金物共 (ステンレス製) 機械基礎

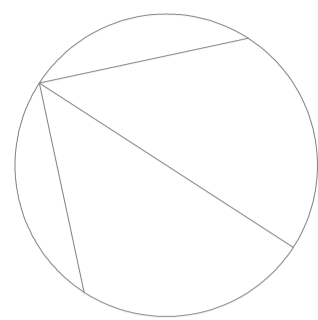
内 部 仕 上 表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井					備 考	
		下地	仕 上	詳細番号	下地	仕 上	高さ	詳細番号	下地	仕 上	高さ	詳細番号	下地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高さ	詳細番号	梁型仕上		詳細番号
水 路 部	ボ ン プ 井	<C><C>	<コンクリート直均し仕上> <C>	1-01-3									<C> <C>	<コンクリート打放し> <C>	2-02-7	<コンクリート打放し> <C>		<C> <C>	<コンクリート打放し> <C>	直天	3-01-11	壁、天井と同じ	2-02-7 3-01-11	<中間渦流防止壁、足掛金物> <C> <床面渦流防止板> <PM>
	砂 溜 水 路 自然流下水路	<C><C>	<コンクリート直均し仕上> <C>	1-01-3									<C> <C>	<コンクリート打放し> <C>	2-02-7	<コンクリート打放し> <C>		<C> <C>	<コンクリート打放し> <C>	直天	3-01-11	壁、天井と同じ	2-02-7 3-01-11	<足掛金物> <C> 角落とし
1 階	ボ ン プ 室	<C><C>	<無筋コンクリート厚200,300> <コンクリート直均し仕上> <PM>	1-01-3	C	C (B)	400	2-02-8					C	グラスウール吸音板厚50 張り ガラスクロス押え (ステンレスフラスター留め)	2-02-14	壁と同じ	2-02-14	C	グラスウール吸音板厚50 張り ガラスクロス押え (ステンレスフラスター留め)	直天	3-01-12	天井と同じ	3-01-12	<防油堤、機械基礎、配線配管ビット> <PM> <点検蓋、マンホール蓋、落込み式取手、機械基礎用差し筋> <C> ホイストレール (7.5t吊、2.0t吊)
	除 塵 機 室	<C><C>	コンクリート直均し仕上	1-01-3									C	C (B)	2-02-7	壁と同じ	2-02-7	C	C (C)	直天	3-01-11	壁、天井と同じ	2-02-7 3-01-11	<点検蓋、マンホール蓋、落込み式取手、機械基礎用差し筋> <C> ホイストレール (0.5t吊)
2 階	電 気 室	<無筋コンクリート厚300> <PE>	<コンクリート直均し仕上げ> <床用塗料> <PE>	1-01-3	C 外壁面 P F 板	C (B)の上 <ビニル幅木> <PE> G B-Rの上 <ビニル幅木> <PE>	60	2-11-1					C 外壁面 P F 板	C (B)の上 E P-G 2-02-8 2-02-9	2-02-9	C (B)の上 E P-G	2-02-7 2-02-9	C	C (C)の上 E P-G	直天	3-01-11	C (B)、(C)の上 E P-G	2-02-7 3-01-11	ブラインド、ブラインドボックス <空調機基礎> <AM> <配線ビット蓋、ビット蓋掛り金物> <PE>
	D S												C	グラスウール吸音板厚50 張り ガラスクロス押え (ステンレスフラスター留め)	2-02-14	壁と同じ	2-02-14	C	グラスウール吸音板厚50 張り ガラスクロス押え (ステンレスフラスター留め)	直天	3-01-12	天井と同じ	3-01-12	
共 通	階 段 室	M	床用塗料 一部ビニル床シート	1-01-4 1-01-1	C	ビニル幅木	60	2-11-1					C	C (B)	2-02-7	壁と同じ	2-02-7	C 最上階 S	G B-N C (N T)	2500	3-01-2			階段すべり止め ステンレス製壁付手摺 室名札 ピクトグラム (階数表示)
																								施工年度 令和4年度 工事 番号 4魚建委第1号 工事名 四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工

特記なき限り																														四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事														
仕上材料の厚さ	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	工事区分略号	< > (C)	： 土木工事			中日本建設コンサルタント株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号 一級建築士 (大臣) 登録第185246号 館林 正三 																												
	GB-R	仕 上	1 2 . 5	1 2 . 5	NM-8 6 1 9	けい酸カルシウム板 (タイプ2)		1 2	1 0	NM-8 5 7 8		< > (AM)	： 建築機械設備工事																															
		下 地	1 2 . 5			押出法ポリスチレンフォーム保温板		2 5	2 5			< > (AE)	： 建築電気設備工事																															
	GB-NC (N)			9 . 5	NM-8 6 1 3	壁紙 (ビニールクロス)				NM-9 7 5 4		< > (PM)	： プラント機械設備工事																															
	GB-NC (NT)			9 . 5	又は同等	GB-S			1 2 . 5	QM-9 8 2 6		< > (PE)	： プラント電気設備工事																															
	GB (W)			1 2 . 5	NM-8 6 1 4	グラスウール吸音板			2 5	NM-8 6 0 5																																		
	DR			1 2	NM-8 5 9 9																																							
															日本建設コンサルタント株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号 一級建築士 (大臣) 登録第185246号 館林 正三 																													
															魚沼市産業経済部建設課																													

仕上材料の厚さ	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	材 料 名	種 別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考
	G B－R	仕 上	1 2. 5	1 2. 5	N M－8 6 1 9	けい酸カルシウム板 (タイプ 2)		1 2	1 0	N M－8 5 7 8
		下 地	1 2. 5			押出法ポリスチレンフォーム保温板		2 5	2 5	
	G B－N C (N)			9. 5	N M－8 6 1 3	壁紙 (ビニールクロス)				N M－9 7 5 4
	G B－N C (N T)			9. 5	又は同等	G B－S			1 2. 5	Q M－9 8 2 6
	G B (W)			1 2. 5	N M－8 6 1 4	グラスウール吸音板		2 5	2 5	N M－8 6 0 5
	D R			1 2	N M－8 5 9 9					

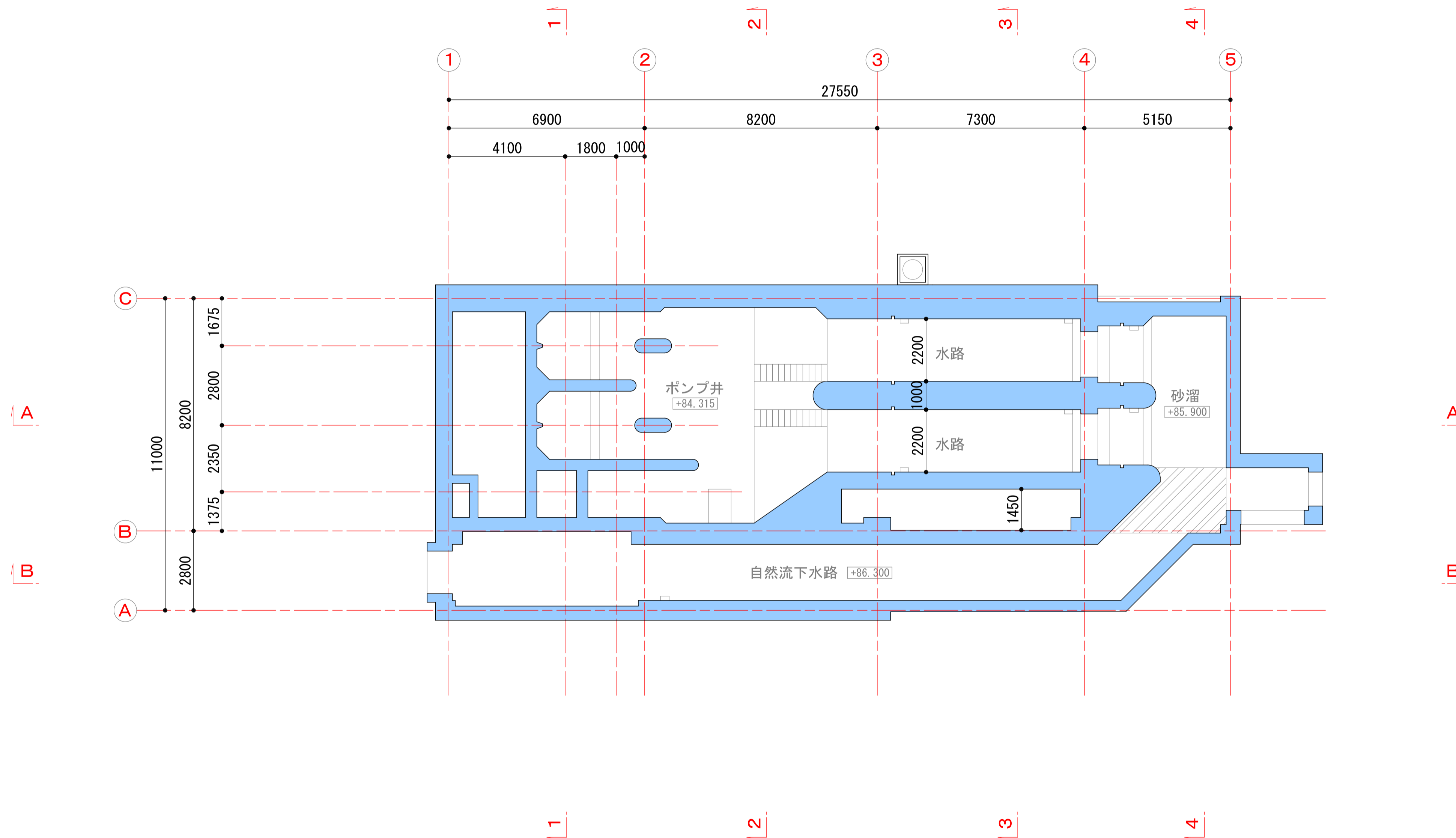
工事区分略号	< > ○	： 土木工事
	< > ○	： 建築機械設備工事
	< > ○	： 建築電気設備工事
	< > ○	： プラント機械設備工事
	< > ○	： プラント電気設備工事

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三



ポンプ井平面図 S=1:100
(TP-84.315)

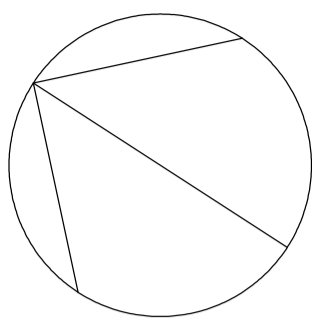
凡 例	
<div></div>	土木工事躯体を示す
<div>+</div>	設計床レベルを示す（T P表示）
設計G Lは 上段TP+89.900、下段TP+89.200とする。 ポンプ井S Lは TP+84.315 とする。	



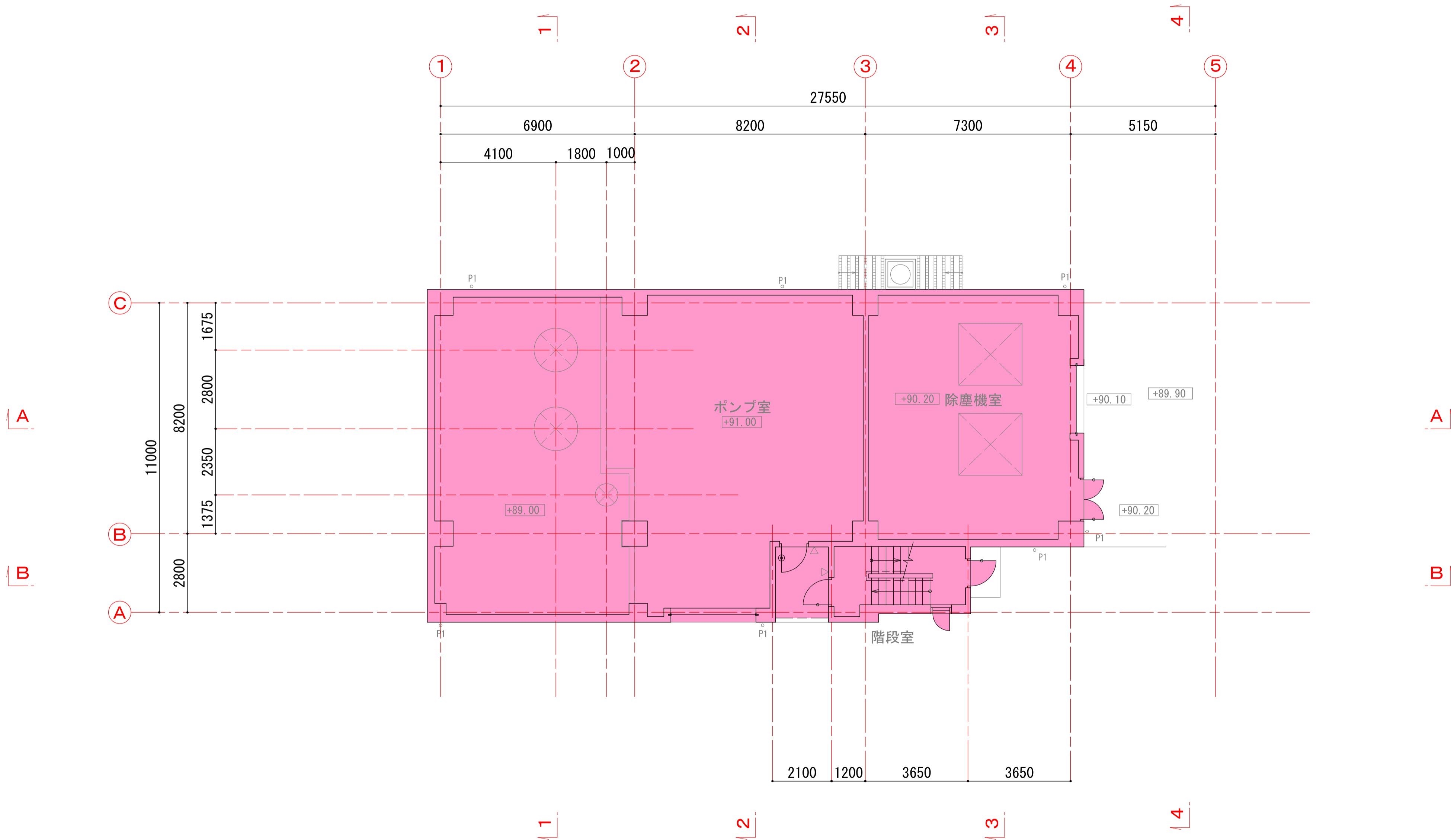
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（い-3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	ポンプ井平面図		
縮尺	1:100	図面番号	D-13
課長	係長	専任	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			



1 階平面図 S=1:100



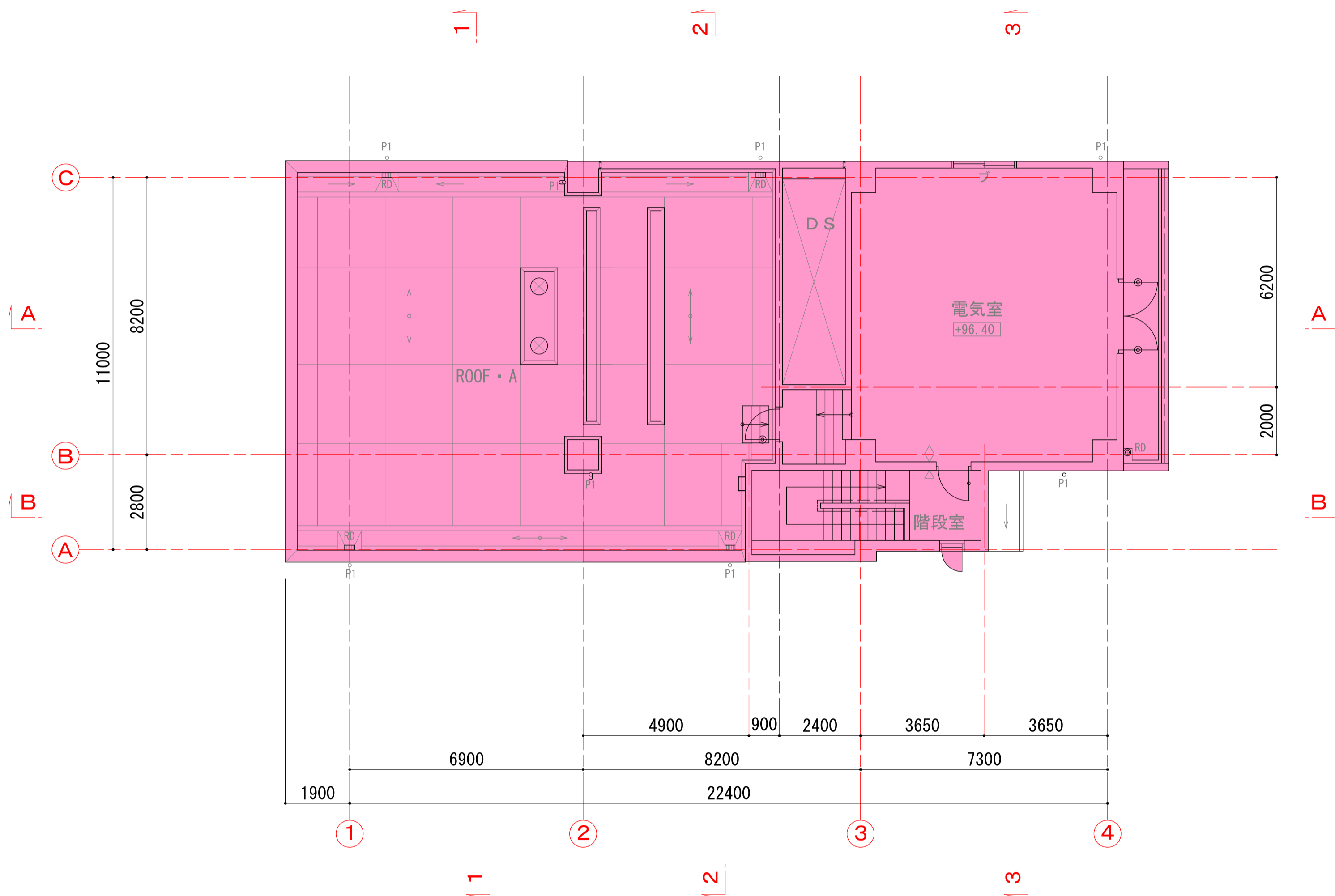
凡 例	
○- P1	たてどい 125A ステンレス製
⊕ □ RD	ルーフドレン 125φ ステンレス製
	ドアクローザー付き（ストップなし）開き扉を示す
	ドアクローザー付き開き扉を示す
△	室名札（面付き）（8－4 3－1）
◇	ピクトグラム（面付き）（8－4 4－1）
ブ	ブラインド付窓を示す
⊙ MH	マンホール蓋（土木工事）を示す
⊙ AD	小型粉末消火器（第5種ABC10型）（別途備品）
±	設計床レベルを示す（T P表示）
設計G Lは 上段TP+89. 900、下段TP+89. 200とする。 1 F Lは TP+3. 650、TP+3. 250、TP+4. 950 とする。	

※階段室のピクトグラム（階数表示）は各踊り場全てに設置する。

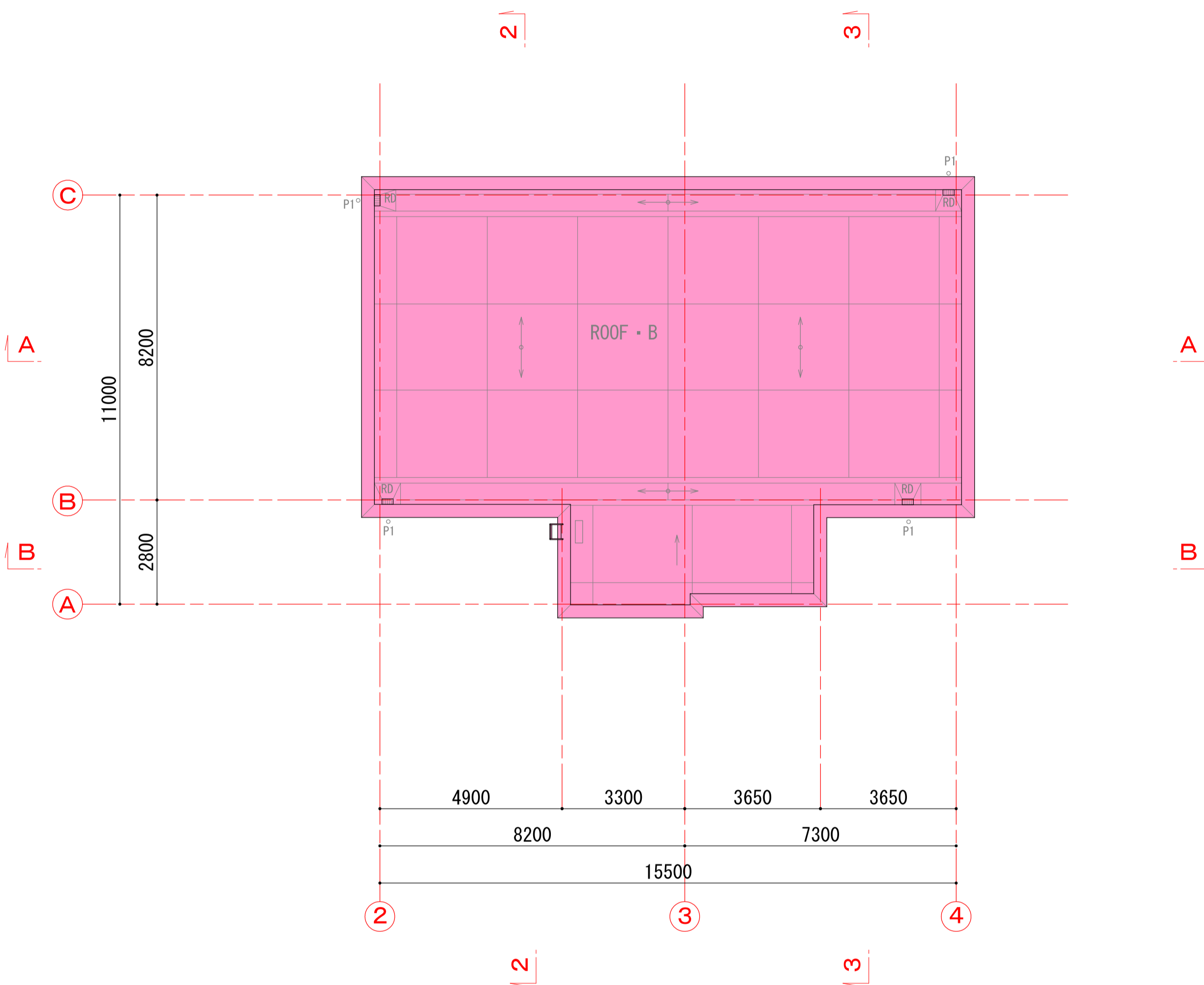
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



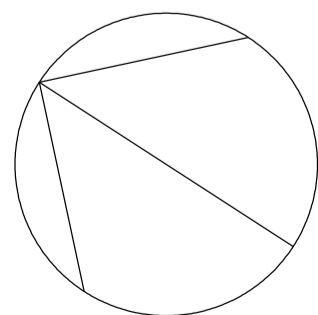
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	1階平面図		
縮尺	1:100	図面番号	D-14
課長	係長	専任	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			



2階平面図 1:100



屋根伏図 1:100



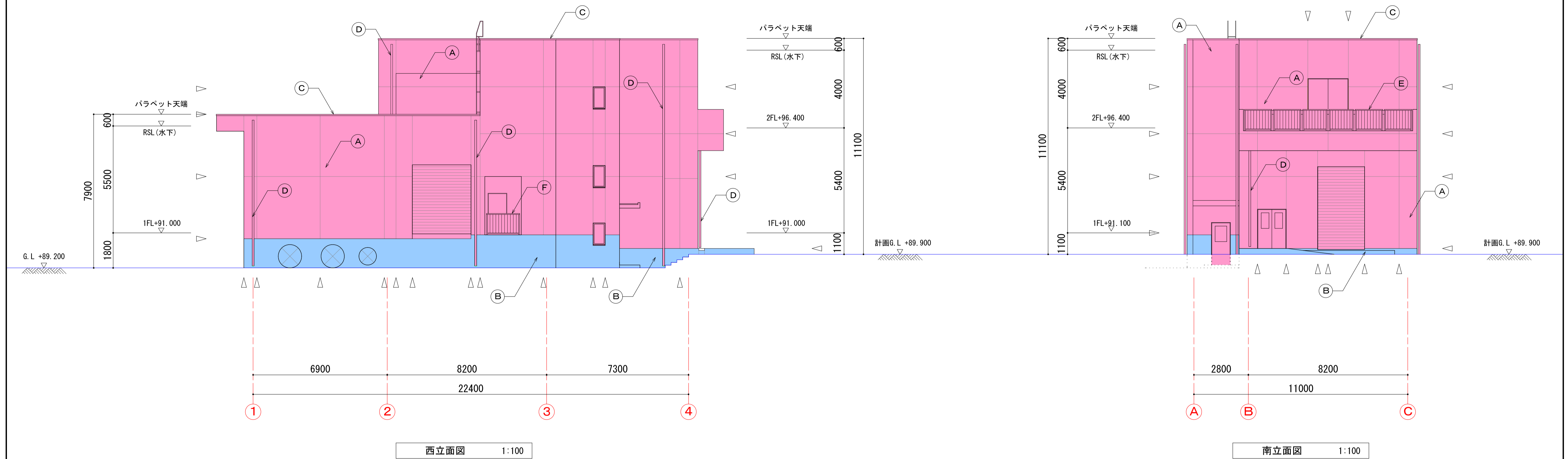
凡 例			
○-P1	たてどい 125A ステンレス製	ブ	ブラインド付窓を示す
⊗ RD	ルーフドレン 125φ ステンレス製	Ⓜ	マンホール蓋（土木工事）を示す
⌒	ドアクローザー付き（ストップなし）開き扉を示す	Ⓐ	小型粉末消火器（第5種ABC10型）（別途備品）
⌒	ドアクローザー付き開き扉を示す	+	設計床レベルを示す（T P表示）
△	室名札（面付き）（8-43-1）		
◇	ピクトグラム（面付き）（8-44-1）		
設計G Lは 上段TP+89.900、下段TP+89.200とする。 1 F Lは TP+3.650、TP+3.250、TP+4.950 とする。		※階段室のピクトグラム（階数表示）は各踊り場全てに設置する。	

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	2階平面図 屋根伏図		
縮尺	1:100	図面番号	D-15
課長	係長	専任	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

立面図（１） S=1:100

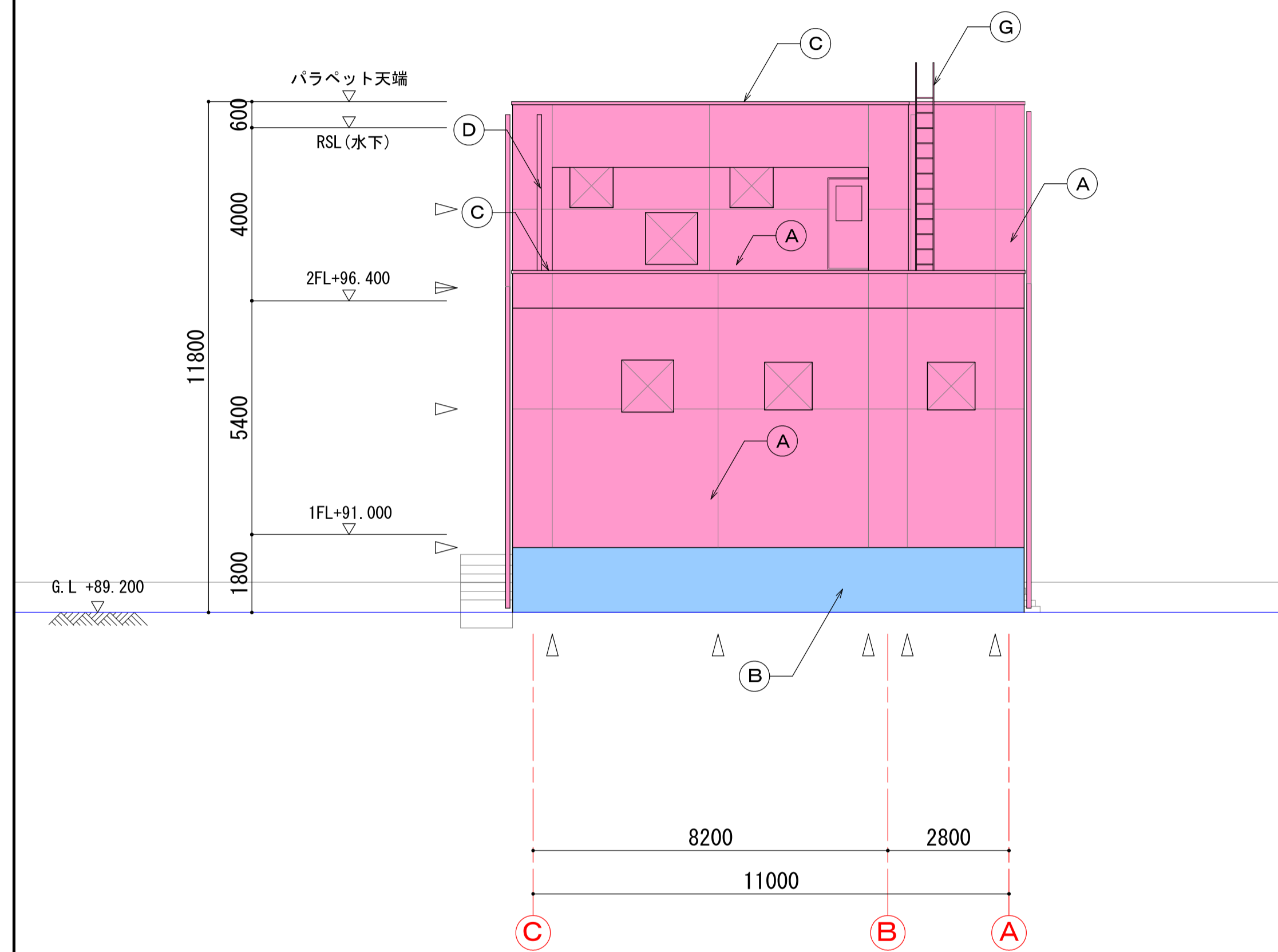


凡 例			
Ⓐ	コンクリート打放し（Ｂ）の上複層塗材 R E	▷	打継目地（シーリング PU-2 20x10）を示す
Ⓑ	< C > Ⓒ のまま	▷	誘発目地（シーリング PU-2 20x10）を示す
Ⓒ	アルミ製笠木	▷	笠木取り合い（シーリング MS-2 10x10）を示す
Ⓓ	たてどい 125A ステンレス製	■	土工工事躯体面を示す。
Ⓔ	アルミ製手摺（取外し式）		
Ⓕ	アルミ製手摺（固定式）		
Ⓖ	ステンレス製タラップ		
注）特記なき限り、外壁仕上げは コンクリート打放し（Ｂ）+複層塗材 R E		外部プラント設備開口部は雨天養生の上引き渡すこと。	

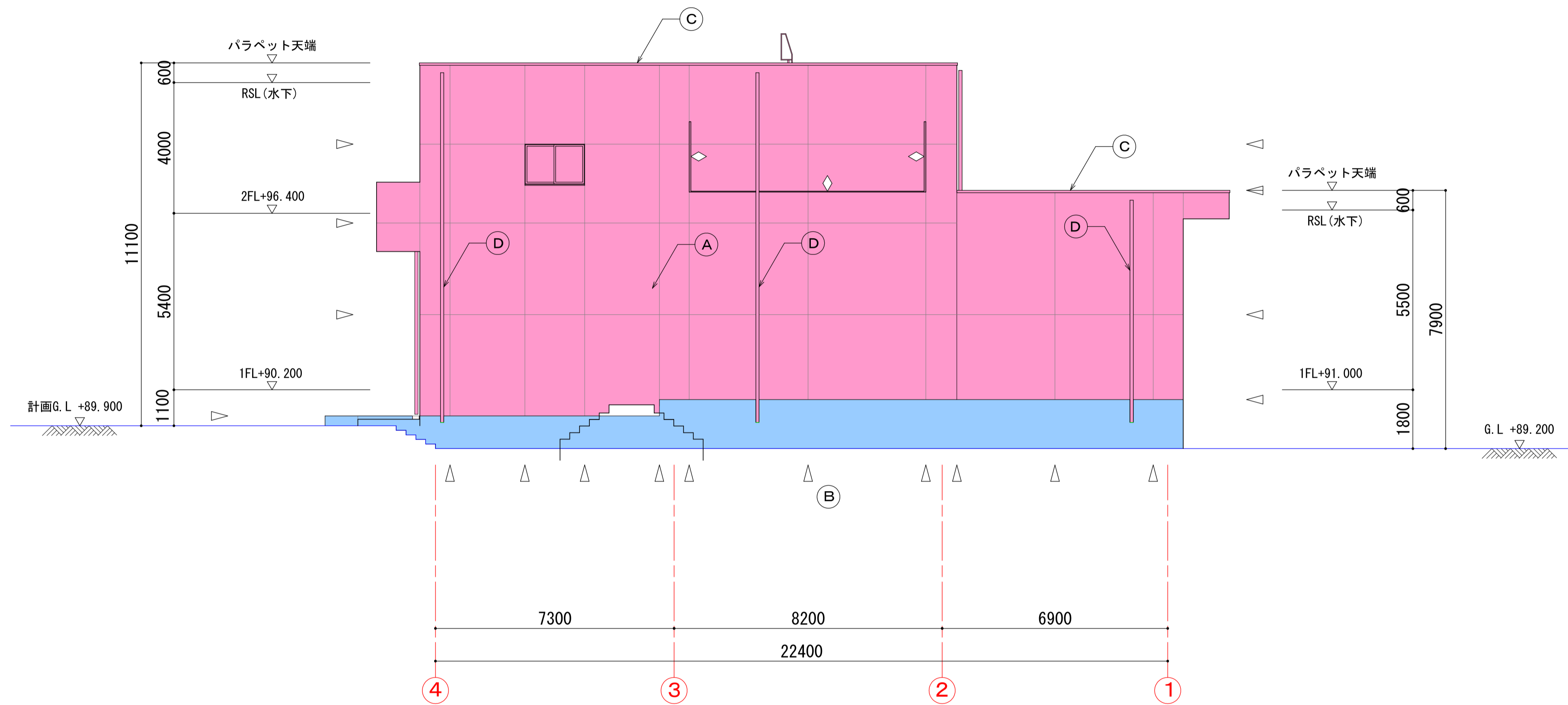
中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	立面図（１）		
縮尺	1:100	図面番号	D-16
課長	係長	専任	調査
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

立面図（２） S=1:100



北立面図 1:100



東立面図 1:100

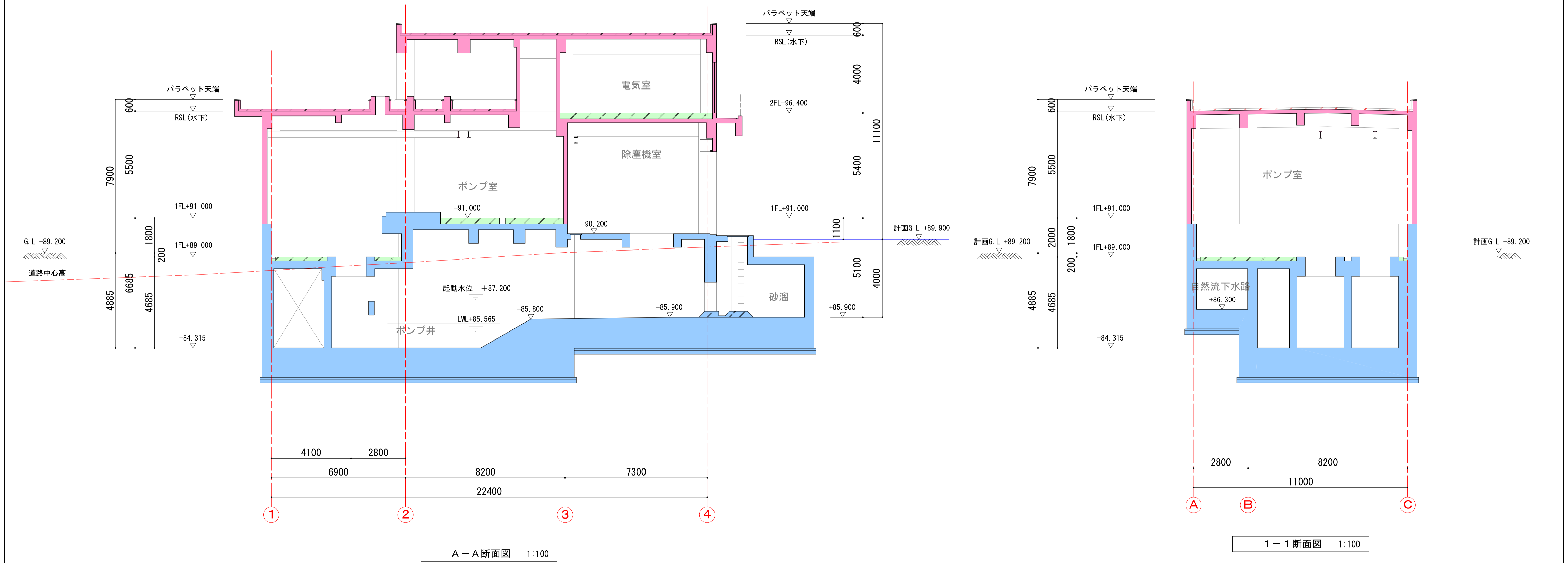
凡 例			
Ⓐ	コンクリート打放し（Ｂ）の上複層塗材 R E	▷	打継目地（シーリング PU-2 20x10）を示す
Ⓑ	< C > Ⓒ の上複層塗材 R E	▷	誘発目地（シーリング PU-2 20x10）を示す
Ⓒ	アルミ製笠木	▷	笠木取り合い（シーリング MS-2 10x10）を示す
Ⓓ	たてどい 125A ステンレス製	◇	構造スリット目地（シーリング PU-2 30x15）を示す
Ⓔ	アルミ製手摺（取外し式）	■	土木工事躯体面を示す。
Ⓕ	アルミ製手摺（固定式）		
Ⓖ	ステンレス製タラップ		
注）特記なき限り、外壁仕上げは コンクリート打放し（Ｂ）＋複層塗材 R E		外部プラント設備開口部は雨天養生の上引き渡すこと。	

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三



施工年度	令和4年度	工事 番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	立面図（２）		
縮尺	1:100	図面番号	D-17
課長	係長	審査	課長
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

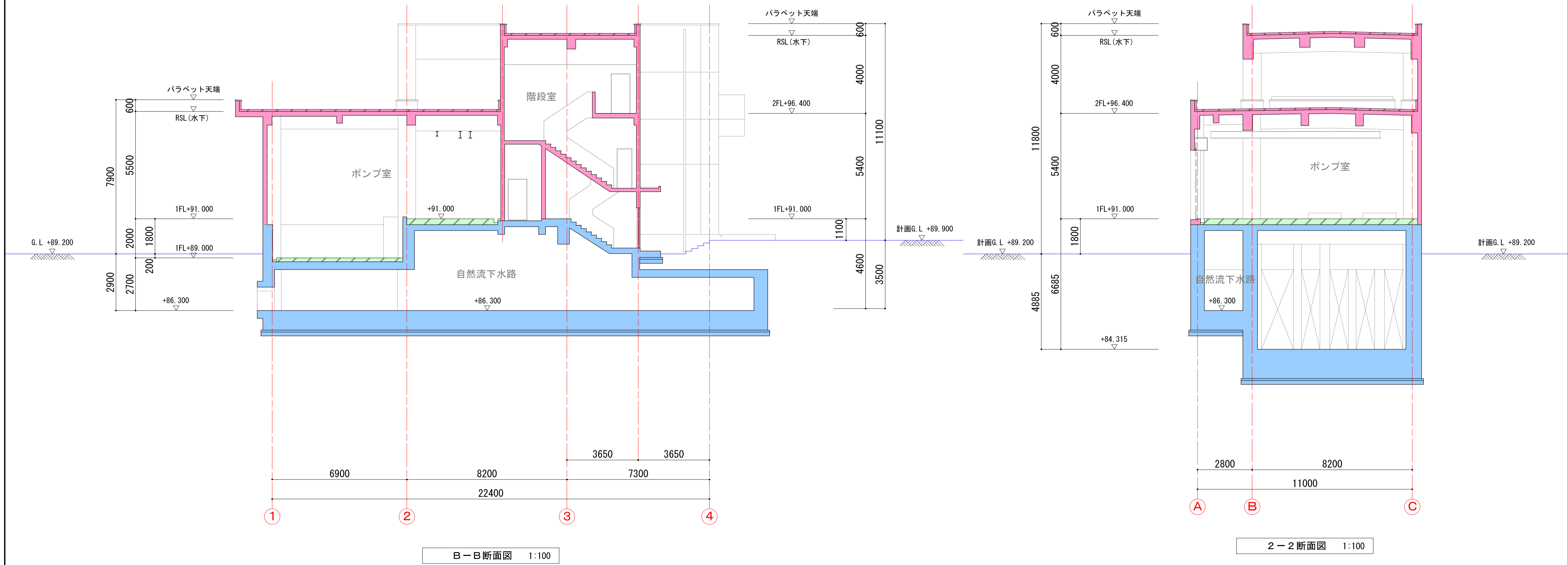
断面図（１） S=1:100



凡 例			
<div></div>	土木工事躯体面を示す。		
<div></div>	別途工事による施工範囲を示す。		

中日本建設コンサルタント株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号 一級建築士（大臣）登録第185246号 館林 正三			
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	断面図（１）		
縮尺	1:100	図面番号	D-18
課長	係長	専任	調査
		設計	測量
魚沼市産業経済部建設課			

断面図（2） S=1:100

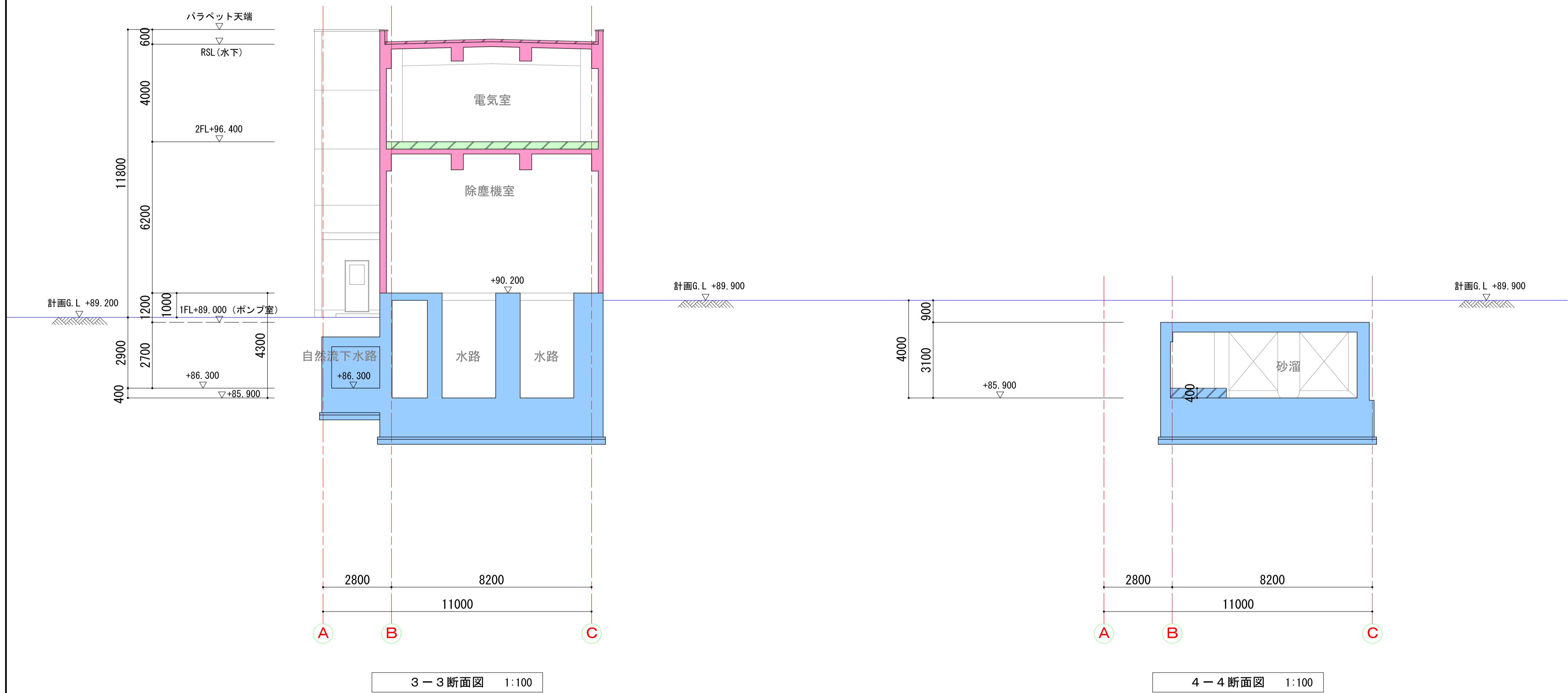


凡 例			
<div></div>	土木工事躯体面を示す。		
<div></div>	別途工事による施工範囲を示す。		

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（い-3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	断面図（2）		
縮尺	1:100	図面番号	D-19
課長	係長	専任	課長
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

断面図（3） S=1:100



凡 例			
■	土木工事躯体面を示す。		
■	別途工事による施工範囲を示す。		

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録（いー3）第2633号
一級建築士（大臣）登録第185246号
館林 正三

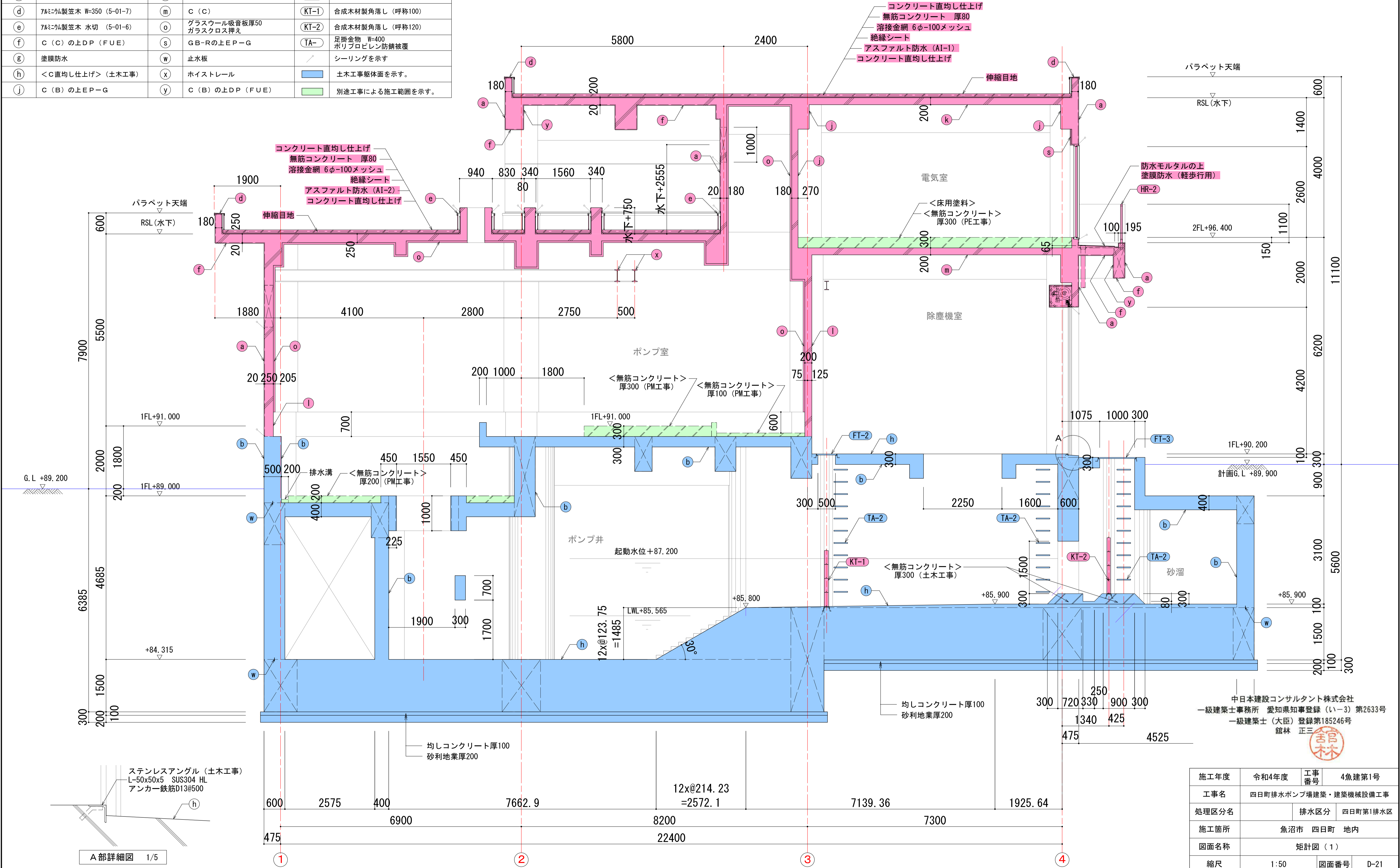


施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	断面図（3）		
縮尺	1:100	図面番号	D-20
課長	係長	専任	調査
設計	測量		

魚沼市産業経済部建設課

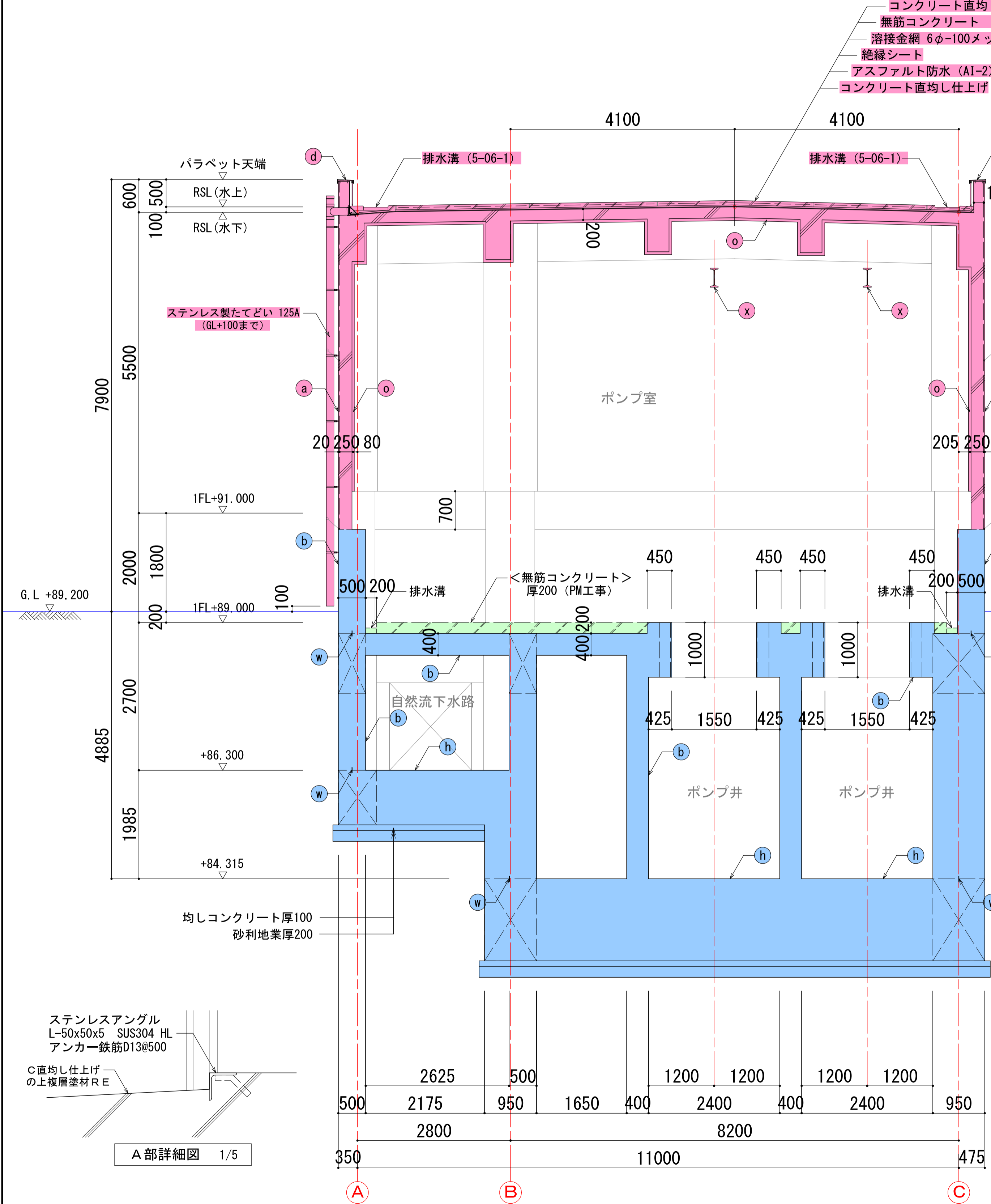
仕上凡例					
符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称
(a)	C (B) の上複層塗材 RE	(k)	C (C) の上 E P - G	(HR-2)	アルミ製手摺 (取外し式) H=1100
(b)	<C> (土木工事) のまま	(l)	C (B)	(FT-)	合成木材製蓋 (単板蓋タイプ)
(d)	7mmφ製笠木 W=350 (5-01-7)	(m)	C (C)	(KT-1)	合成木材製角落し (呼称100)
(e)	7mmφ製笠木 水切 (5-01-6)	(o)	グラスウール吸音板厚50 ガラスクロス押え	(KT-2)	合成木材製角落し (呼称120)
(f)	C (C) の上 D P (FUE)	(s)	G B - R の上 E P - G	(TA-)	足掛金物 W=400 ポリプロピレン防錆被覆
(g)	塗膜防水	(w)	止水板		シーリングを示す
(h)	<C直均し仕上げ> (土木工事)	(x)	ホイストレール		土木工事躯体面を示す。
(j)	C (B) の上 E P - G	(y)	C (B) の上 D P (FUE)		別途工事による施工範囲を示す。

矩計図 (1) S=1:50

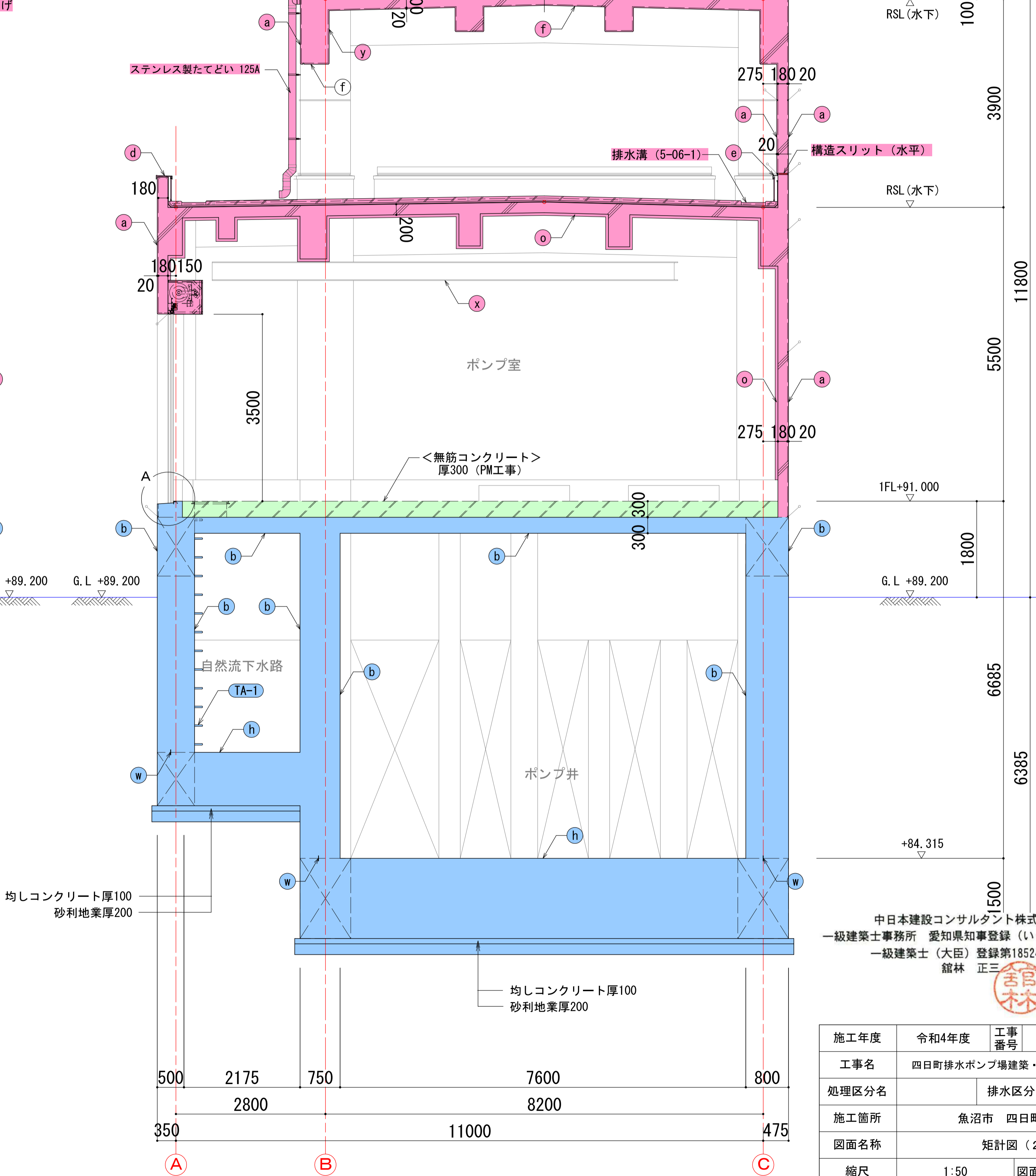


施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号	
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事			
処理区分名	排水区分		四日町第1排水区	
施工箇所	魚沼市 四日町 地内			
図面名称	矩計図（1）			
縮尺	1:50		図面番号	D-21
課長	係長	審査	図面設計	測量
魚沼市産業経済部建設課				

仕上凡例					
符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称
(a)	C (B) の上複層塗材 R E	(k)	C (C) の上 E P - G	(HR-2)	アルミ製手摺 (取外し式) H=1100
(b)	<C> (土木工事) のまま	(l)	C (B)	(FT-)	合成木材製蓋 (単板蓋タイプ)
(d)	7/8ミム製笠木 W=350 (5-01-7)	(m)	C (C)	(KT-1)	合成木材製角落し (呼称100)
(e)	7/8ミム製笠木 水切 (5-01-6)	(o)	グラスウール吸音板厚50 ガラスクロス押え	(KT-2)	合成木材製角落し (呼称120)
(f)	C (C) の上 D P (F U E)	(s)	G B - R の上 E P - G	(TA-)	足掛金物 W=400 ポリプロピレン防錆被覆
(g)	塗膜防水	(w)	止水板		シーリングを示す
(h)	<C直均し仕上げ> (土木工事)	(x)	ホイストレール		土木工事躯体面を示す。
(j)	C (B) の上 E P - G	(y)	C (B) の上 D P (F U E)		別途工事による施工範囲を示す。



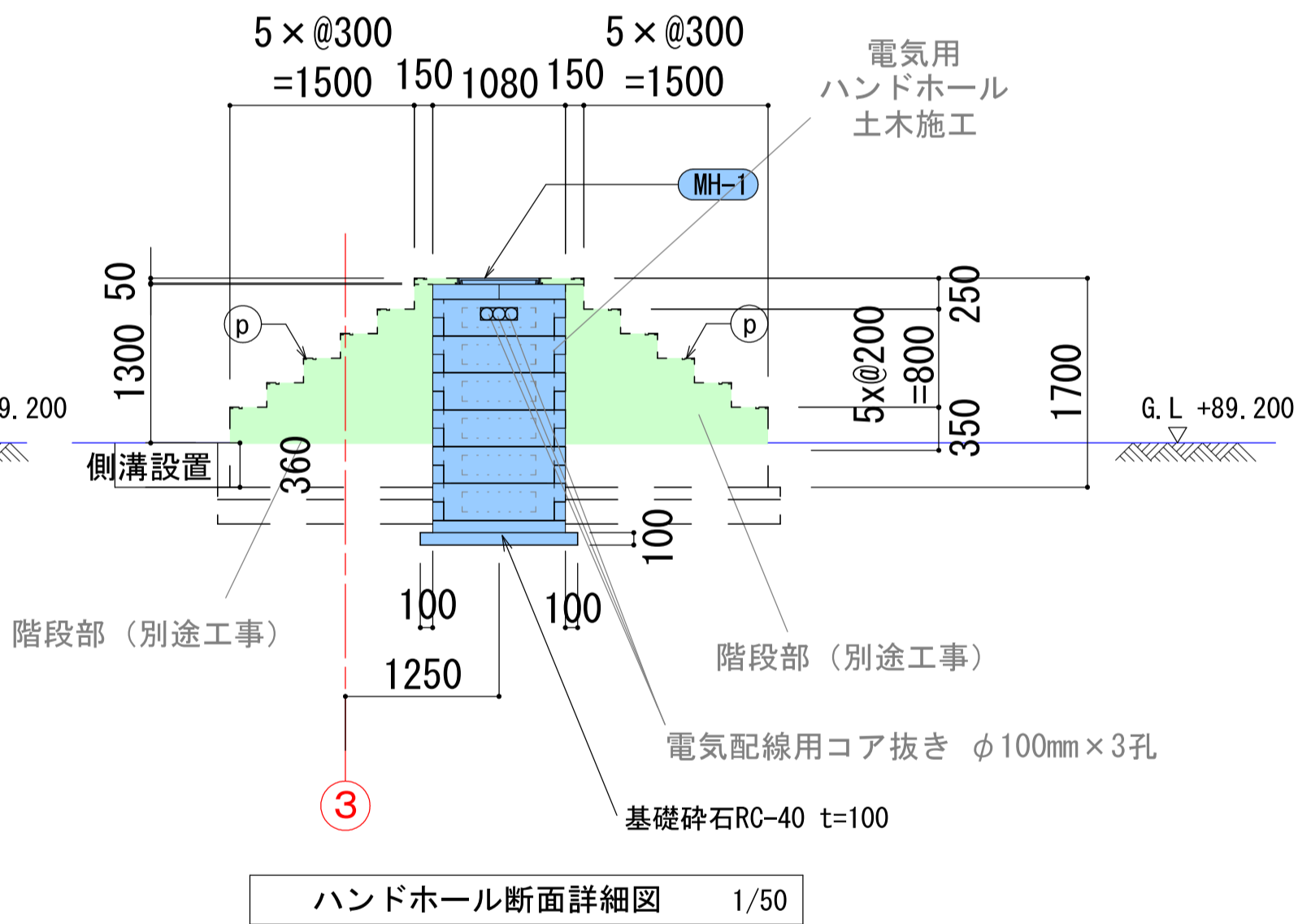
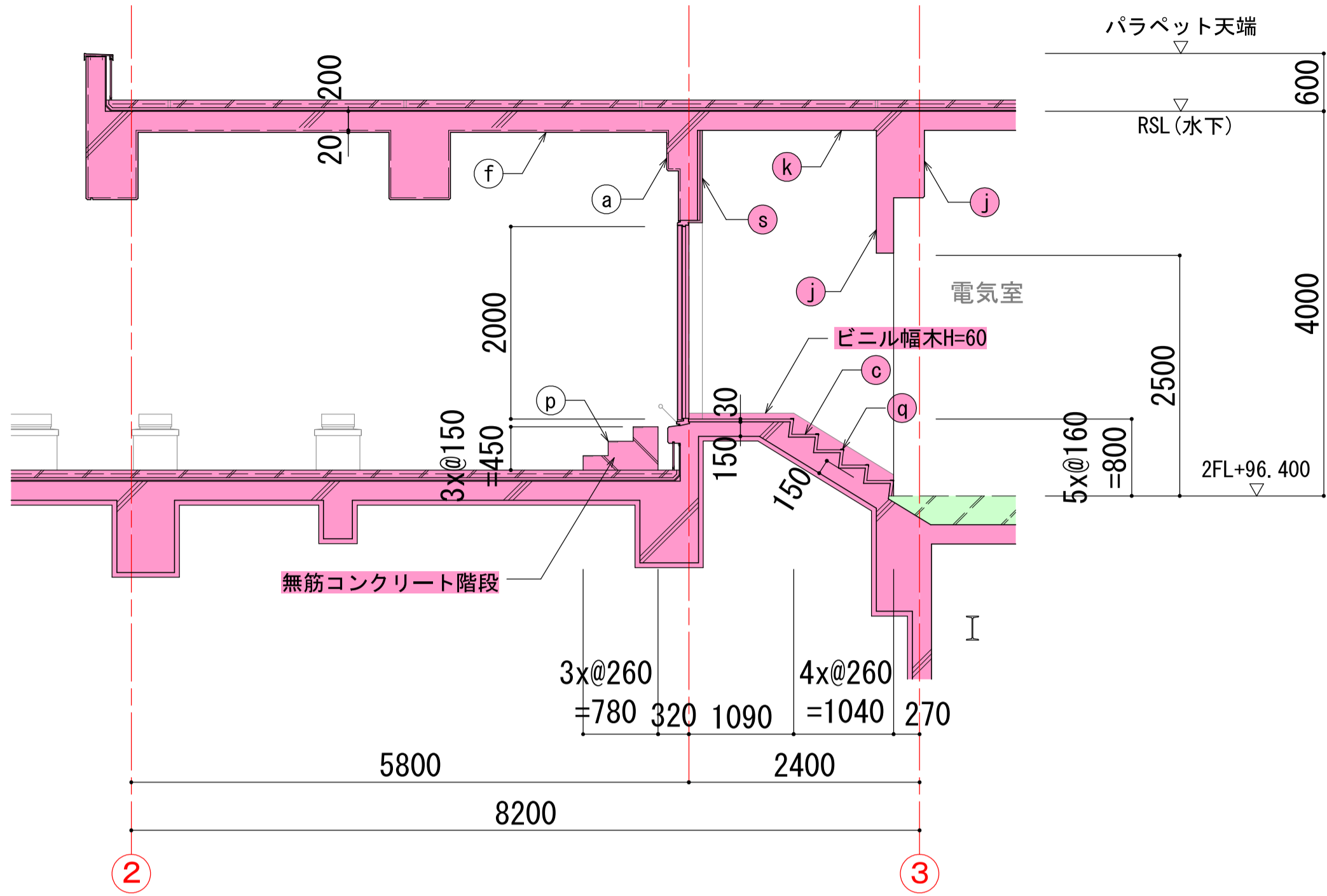
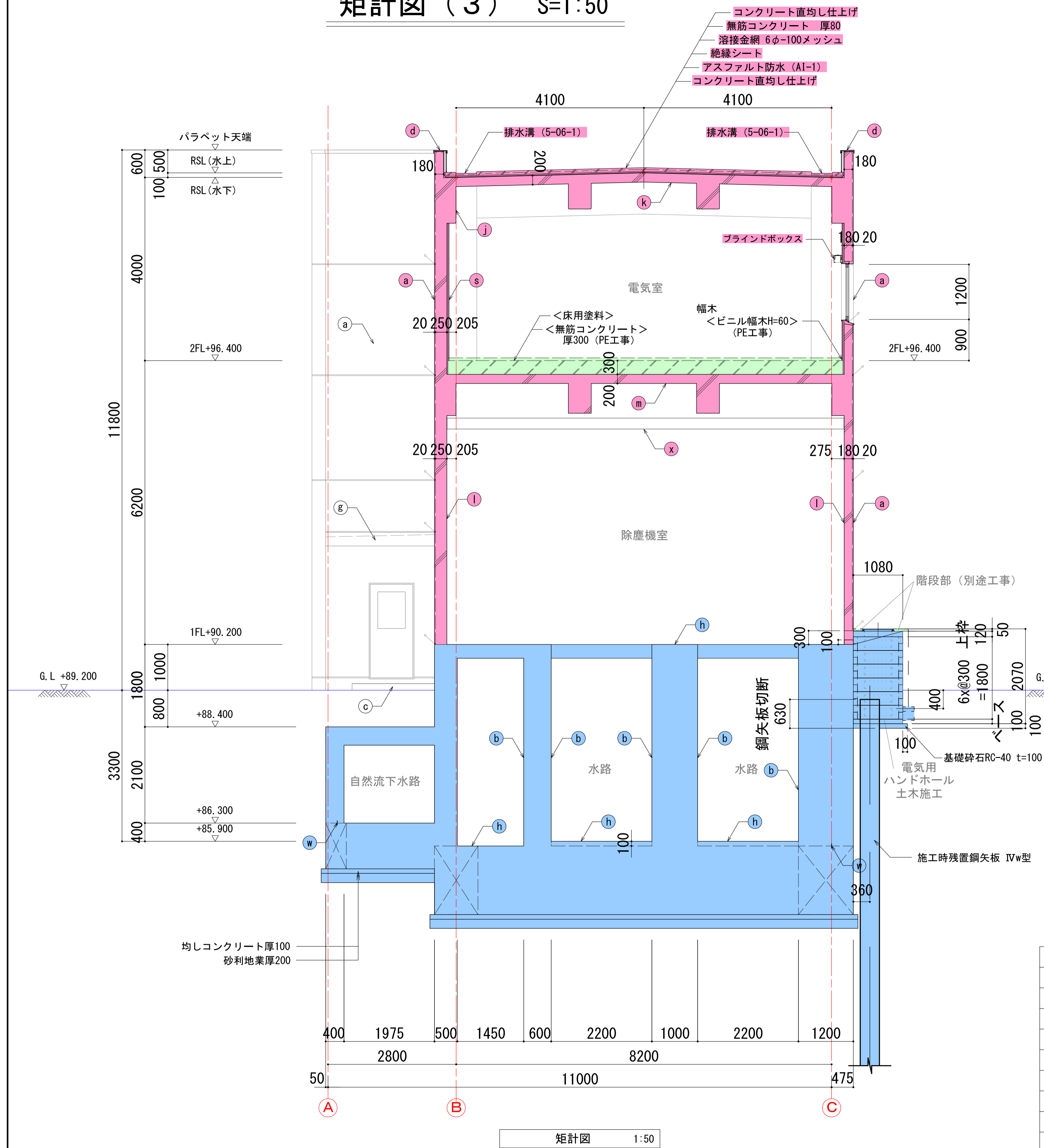
矩計図 (2) S=1:50



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三

施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号		
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事				
処理区分名	排水区分		四日町第1排水区		
施工箇所	魚沼市 四日町 地内				
図面名称	矩計図（2）				
縮尺		1:50		図面番号	D-22
課長	係長	審査	図面	設計	測量
魚沼市産業経済部建設課					

矩計図（3） S=1:50



仕上凡例			
符 号	名 称	符 号	名 称
(a)	C (B) の上複層塗材 RE	(m)	C (C)
(b)	<C> (土木工事) のまま	(p)	階段滑り止めタイル100角
(c)	モルタル塗り	(s)	GB-Rの上EP-G
(d)	7Mミカミ製笠木 W=350 (5-01-7)	(w)	止水板
(f)	C (C) の上DP (FUE)	(x)	ホイストレール
(g)	塗膜防水	(MH-I)	鋼製マンホール蓋600φ
(h)	<C直均し仕上げ> (土木工事)	(TA-)	足掛金物 W=400 ポリプロピレン防錆被覆
(j)	C (B) の上EP-G		シーリングを示す
(k)	C (C) の上EP-G		
(l)	C (B)		

中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (いー3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
館林 正三

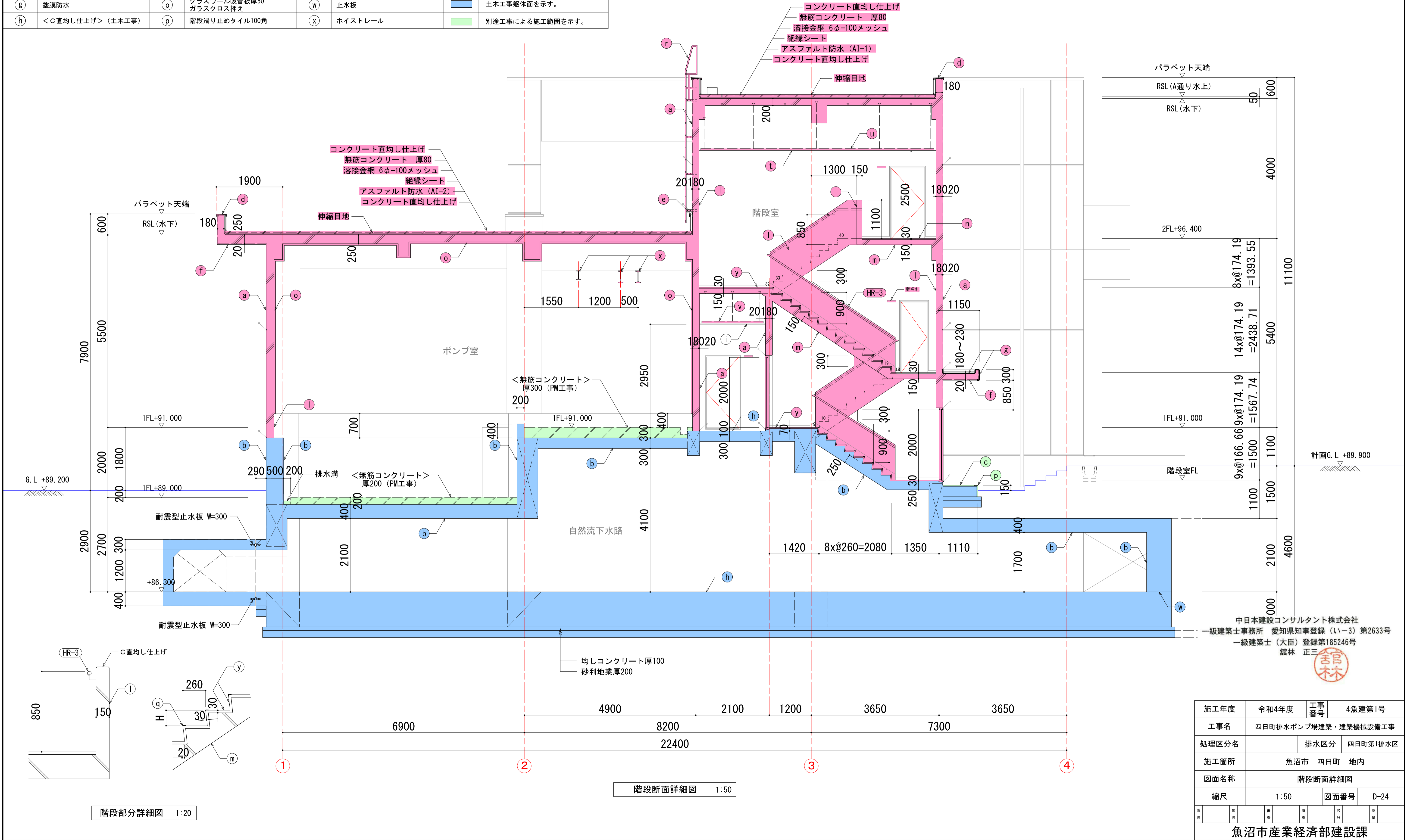


土木工事躯体面を示す。
別途工事による施工範囲を示す。

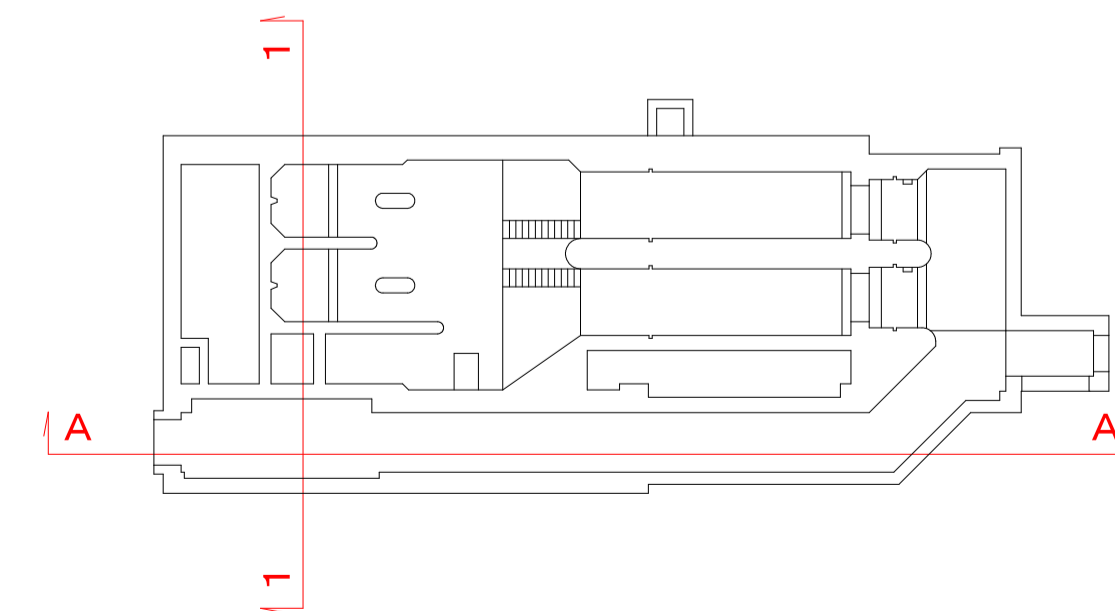
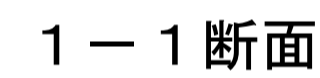
施工年度	令和4年度	工事番号	4魚建第1号
工事名	四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事		
処理区分名		排水区分	四日町第1排水区
施工箇所	魚沼市 四日町 地内		
図面名称	矩計図 (3)		
縮尺	1:50	図面番号	D-23
課長	係長	審査	図面
設計	測量		
魚沼市産業経済部建設課			

仕上凡例							
符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称
(a)	C (B) の上複層塗材 R E	(i)	ケイカル板の上 A E	(q)	ステンレス製階段すべり止め	(y)	床・階段：モルタル塗りの上床用塗料
(b)	<C> (土木工事) のまま	(j)	C (B) の上 E P - G	(r)	ステンレス製タラップ	(HR-1)	アルミ製手摺 (固定式) H=1100
(c)	モルタル塗り	(k)	C (C) の上 E P - G	(s)	G B - R の上 E P - G	(HR-2)	アルミ製手摺 (取外し式) H=1100
(d)	7Mミニム製笠木 W=350 (5-01-7)	(l)	C (B)	(t)	G B - N C (N T)	(HR-3)	壁付き手摺 (ステンレス製)
(e)	7Mミニム製笠木 水切 (5-01-6)	(m)	C (C)	(u)	軽量鉄骨天井地 (19形)	(GT-1)	グレーチング蓋及び受枠 W=200 歩行用
(f)	C (C) の上 D P (F U E)	(n)	ビニル床シート	(v)	軽量鉄骨天井地 (25形)		シーリングを示す
(g)	塗膜防水	(o)	グラスウール吸音板厚50 ガラスクロス押え	(w)	止水板		土木工事躯体面を示す。
(h)	<C直均し仕上げ> (土木工事)	(p)	階段滑り止めタイル100角	(x)	ホイストレール		別途工事による施工範囲を示す。

階段断面詳細図 S=1:50



A—A 断面



中日本建設コンサルタント株式会社
一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-3) 第2633号
一級建築士 (大臣) 登録第185246号
舘林 正三

館林 正三



凡例

土木工事躯体面を示す。

施工年度		令和4年度		工事番号		4魚建第1号	
工事名 四日町排水ポンプ場建築・建築機械設備工事							
処理区分名				排水区分		四日町第1排水区	
施工箇所		魚沼市 四日町 地内					
図面名称		断面詳細図（1）					
縮尺		1:50			図面番号		D-25
図長	係長	審	図	設計	測		
魚沼市産業経済部建設課							